

日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」推進協議会 御中

日本遺産「播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道」マーケティング調査業務 【インバウンド誘致に関する調査報告書】

2017年12月25日



目 次

業務概要	2ページ
インバウンド誘致に対するニーズ・意識調査	3
①外国人旅行者ニーズ・意識調査	
調査概要・対象者プロフィール	4
調査結果の要約	5～6
SQ1. 日本への来訪経験	7
Q1. 予定している日本への旅行の時期	8
Q2. 旅行の種類	9
Q3. 世帯手取り月収	10
Q4. 旅行形態	11
Q5-1. 旅行準備中に利用する情報媒体	12
Q5-2. 日本滞在中に利用する情報媒体	13
SQ4. 興味のある日本の文化	14
Q6. 旅行の際の主な交通手段	15
Q7. 日本旅行で期待するもの	16
Q8. 中播磨地区、但馬地区旅行への興味・関心	17
Q9. 中播磨地区、但馬地区旅行へ興味・関心を持った理由	18
Q10. 産業的な遺物・遺跡への興味・関心	19
Q11. 日本遺産の認知度	20
Q12. 日本遺産に認定されていることが分かった場合の、その地域 への興味・関心の変化	21
Q13. 当日本遺産への来訪意向	22
Q14. 当日本遺産へ興味・関心を持つ理由	23
Q15. 当日本遺産構成文化財への興味・関心	24
Q16. 当日本遺産の巡り方	25
Q17. 道をたどる旅場合の、当日本遺産の観光スタイル	26
Q18. 当日本遺産のP R方法について	27
附録（調査設問）	28～34

1. 業務名：日本遺産「播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道」マーケティング調査業務

2. 本業務の目的：

日本遺産認定に伴い、6市町（朝来市・市川町・神河町・姫路市・福崎町・養父市）が有する構成資産への来訪者誘致および当該地域のエリア回遊の促進・増加を目指した事業が開始される。

従来までの観光誘致（実績）に加え、これまでとは異なる新たな客層に対する効果的なプロモーションや観光戦略が必要と考えられることから、日本人およびインバウンドに対する意識調査・ニーズ調査などを行い、観光誘致策を構築する基礎資料を得るためのマーケティング調査を実施する。

3. 業務内容：全業務中、インバウンド誘致に関する調査業務として、以下を実施し、本報告書に結果を記載する。

調査の概要

インバウンド誘致に対するニーズ調査・意識調査

①外国人旅行者ニーズ・意識調査

外国人旅行者の嗜好や行動形態、ニーズ・意識等を把握し、海外マーケティングの基礎資料となる情報を取得する。

外国人旅行者ニーズ・意識調査

【報告書の見方】

- ・集計結果はすべて、小数点第2位を四捨五入しており、比率の合計が100.0%にならないことがある。
- ・複数回答のパーセントについては、合計しても100%とはならない。
- ・セルに色が付いている場合、下記のことを示す。

全体と比較し
は+10%以上
は+5%以上10%未満
は-10%以上

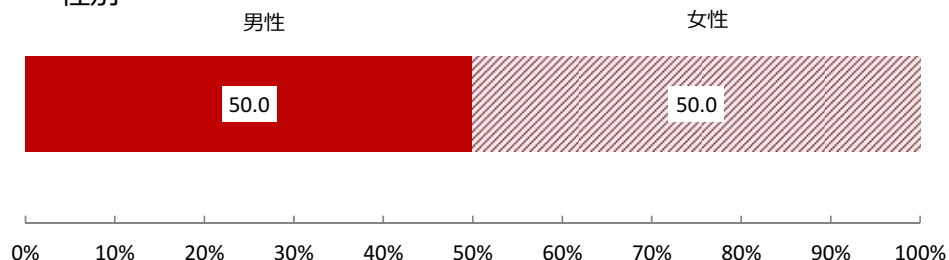
調査概要

■調査概要

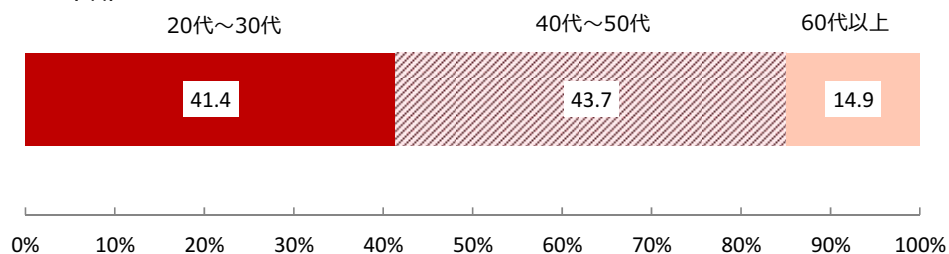
調査名称	インバウンド誘致に対するニーズ調査・意識調査
調査目的	外国人旅行者の嗜好や行動形態、ニーズ・意識などの調査
調査手法	海外モニターインターネット調査
調査対象者	中国・台湾・韓国・タイ・アメリカ・フランス・イタリアの計7地域
対象者条件	日本を知っており、日本への旅行に興味・関心のある方
対象者セグメント	年代：20・30代、40・50代、60歳以上の3区分 性別：男女の2区分
サンプル数	各国100サンプルずつ、計700サンプル
調査期間	12月1日（金）～12月11日（月）※調査期間は日本時間

■対象者プロフィール

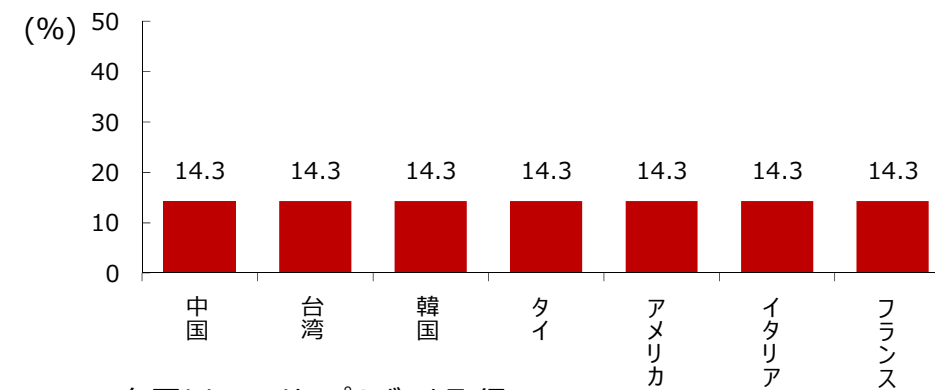
性別



年齢



居住国



※各国とも100サンプルずつを取得

日本旅行の動向

- 東アジアの国で訪日経験が多く、中でも台湾は8割以上と高いものであった。また、“1年以内に日本へ旅行に行きたい”と考えている人は全体で7割弱、東アジアで見れば、「半年以内」で4割以上と高い割合である。
- 旅行形態は、「個人旅行」が主流でF I T化がかなり進んできており、家族旅行が中心である。
- 旅行準備中の情報源は、「インターネット」、「ガイドブック」が多く、旅行間近になると、よりS N Sの利用が高くなる。滞在中もネット利用が多いことからネットコンテンツの外国語対応は不可欠と考えられる。
- 日本に対して興味あることは、「食」や「自然」といった項目が上位となっている。国別にみていくと、欧米（アメリカ、イタリア、フランス）では、「歴史（伝統的な文化や建物などを含む）」、東アジアの国では、「温泉」や「買物」などが上位にあがった。

中播磨地区、但馬地区への旅行について

- 全体的に韓国人の評価や反応は、他の国に比べて低い傾向にある。
- 当地区への旅行について、全体の68.6%が「とても興味関心がある」と回答している。国別にみても、韓国以外の国で65.0%以上が「とても興味関心がある」と回答し、特に欧米やタイでの高くなっている。このことから当地区の観光ポテンシャルは高いと考えられる。
- 当地区への旅行に興味を持った理由としては、中国、韓国以外では、「姫路城が見たい」が最も多い。それに加え、欧米では「竹田城に行きたい」や「歴史的な建築物/遺産・遺構を見たい」といった項目の割合も高く、やはり歴史を感じられるものへの興味が高い。中国や韓国では、「温泉に入りたい」という意見が最も多かった。
- 日本の鉱山や炭鉱跡など地域の産業を伝える遺物や遺跡についても、欧米を中心に興味関心が高い。但し、韓国、台湾では他の国に比べ関心度が低いものとなっている。

日本遺産について

- 日本遺産に認定されていることが分かった場合、86.6%が「行ってみたくなる、調べてみたくなる」と回答しており、国別にみても、韓国以外の国では80%以上がそのように回答している。
国内調査と同様に、「日本遺産」という言葉の訴求力は非常に高いという結果となった。

播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道について

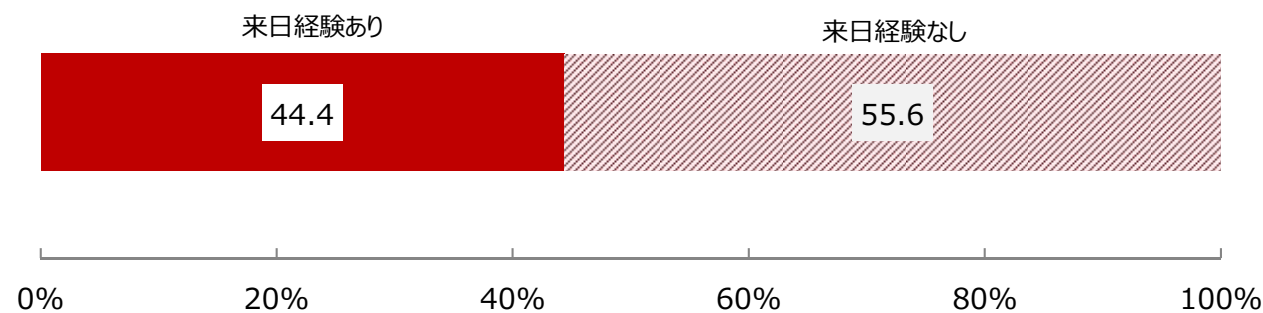
- 当日本遺産へは、全体の37.9%が「非常に行きたいと思う」と回答しており、「行きたい」の42.3%と合わせて80.2%が“行きたい”と回答した。また、訪日経験がある外国人の方がその割合は高くなっている。訪れたいと思った理由としては、「歴史やストーリーに興味がある」、「珍しさ・個性を感じる」等が上位となっている。
- 当日本遺産の各構成資産については「生野鉱山寮・馬車道跡」、「明延鉱山関連遺構」、「神子畑鑄鉄橋・羽淵鑄鉄橋」、「栗賀町」、「神子畑選鉱場」などに多くの回答が寄せられた。一方、韓国では全体的に興味度が低く、「興味がない」との回答が2割と他の国に比べ大幅に高くなっている。
- 当日本遺産の巡り方としては、「すべての道のりをたどりたい」が36.0%で、国内調査よりも高い割合となっている。
- 当日本遺産のPR方法については、「ここでしか見られない美しい風景・景観」、「ここでしか味わえないご当地グルメ」、「ここでしか撮れない、フォトジェニックスポット」の支持が高く、国内調査と同様に、オリジナリティが求められている傾向にある。

日本旅行について：日本への来訪経験

●全回答者の内、44.4%が、「来日経験あり」と回答している。

・属性別にみると、東アジア3か国は、半数以上が「来日経験あり」で、＜台湾＞では、85.0%が、過去日本を訪れている。

SQ1. 日本への来訪経験



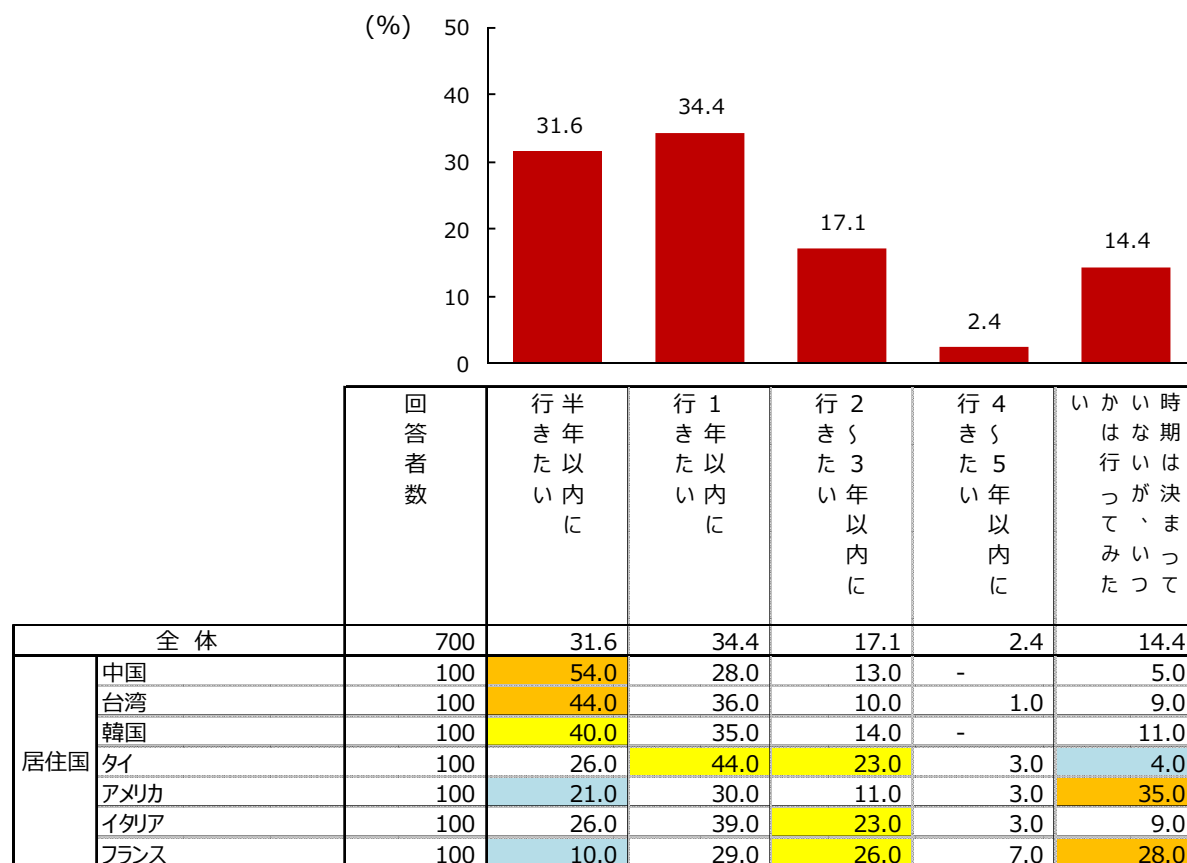
		回答者数	来日経験あり	来日経験なし
全 体		700	44.4	55.6
居住国	中国	100	64.0	36.0
	台湾	100	85.0	15.0
	韓国	100	52.0	48.0
	タイ	100	38.0	62.0
	アメリカ	100	31.0	69.0
	イタリア	100	23.0	77.0
	フランス	100	18.0	82.0

日本旅行について：予定している日本旅行の時期

●日本への旅行の意向については、「半年以内に行きたい」が31.6%、「1年以内に行きたい」が34.4%で、“1年以内に行きたい”と考えている人が66.0%を占める。

・属性別にみると、東アジアの3か国は、「半年以内に行きたい」の割合が比較的高い。

Q1. あなたは、何年以内に観光目的で「日本」を訪問したいと考えていますか。(SA)



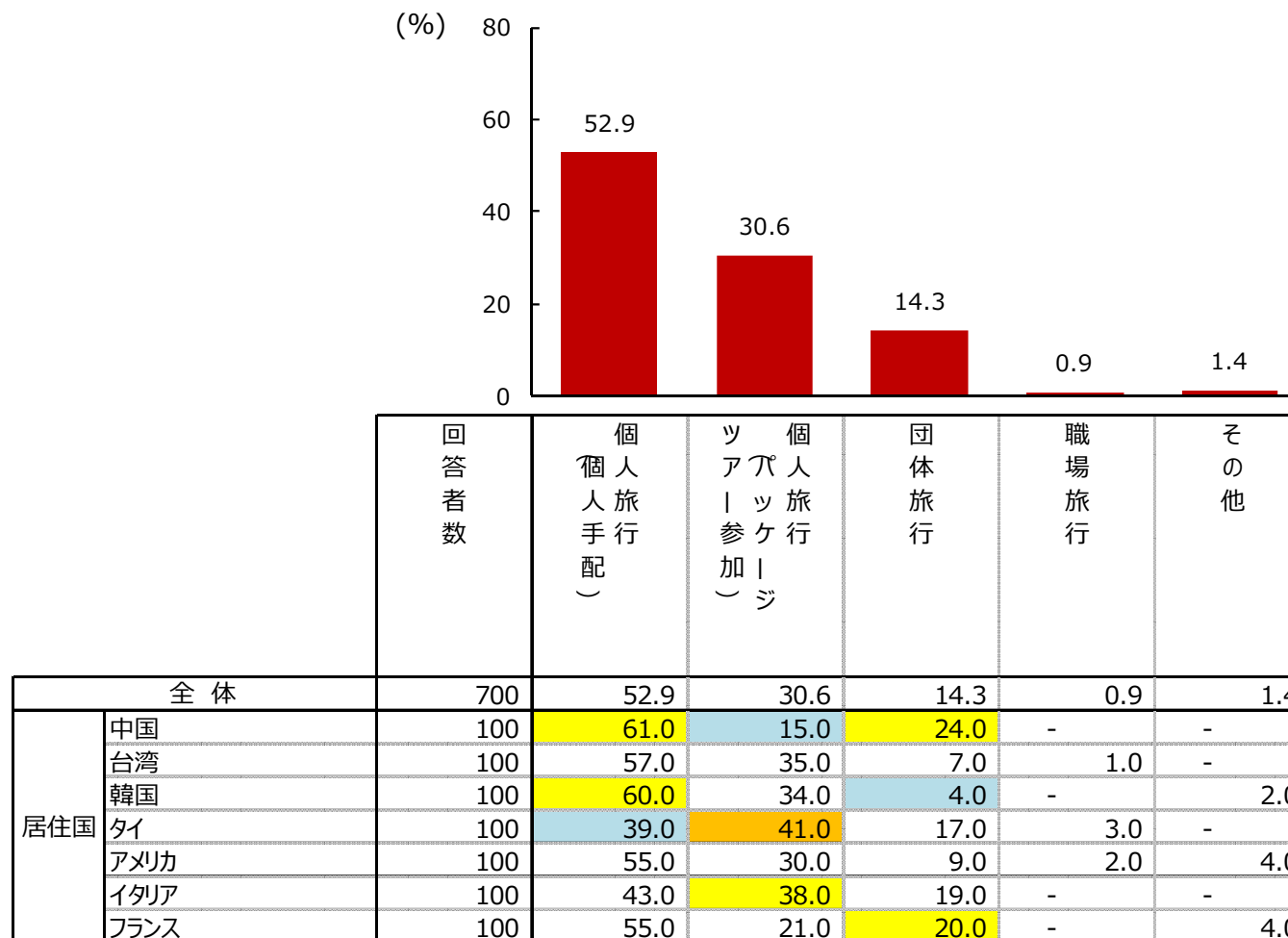
日本旅行について：旅行の種類

●日本旅行をする場合の旅行形態は「個人旅行（個人手配）」が52.9%で最も多く、次いで「個人旅行（パッケージツアー参加）」が30.6%と続き、83.5%が“個人旅行”で日本を訪れると回答している。

・属性別にみると、タイとイタリア以外では、「個人旅行（個人手配）」の割合が50%以上となっている。「団体旅行」は、＜台湾＞、＜アメリカ＞、＜イタリア＞では10%以下だが、＜中国＞では24.0%、＜フランス＞では20.0%と2割程度見られる。

旅行のF I T化がかなり進んでいることがわかる結果となっている。

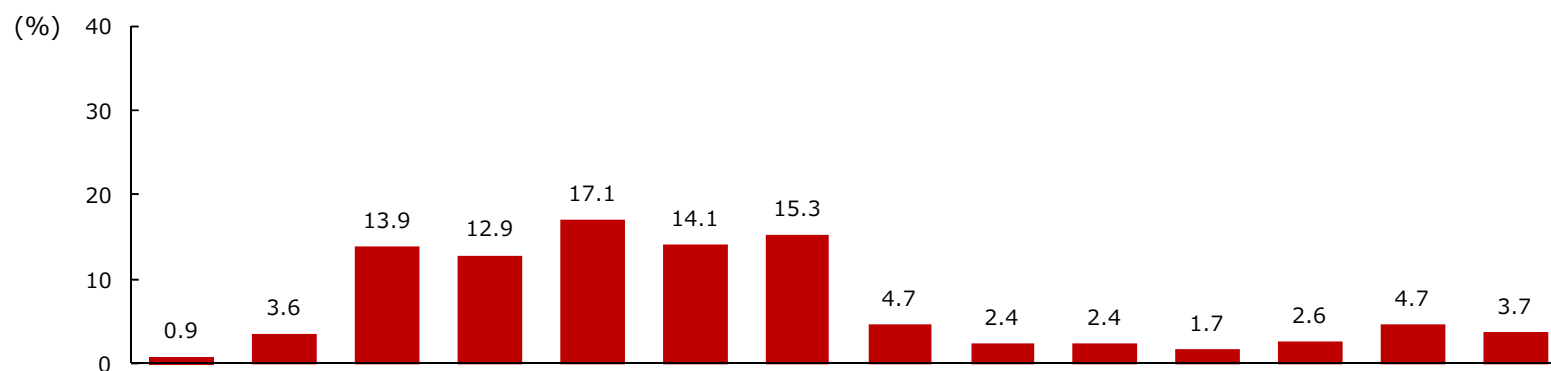
Q2. 日本旅行に行く際には、どのような旅行形態になると思いますか。（SA）



日本旅行について：世帯手取り月収

●回答者の1ヶ月の世帯手取り収入は「30万円以上40万円未満」が17.1%で最も多いが、「10万円以上20万円未満」～「50万以上100万円未満」まではどれも約13%～17%ほどで、ほぼ同程度の割合となっている。

Q3. 世帯全体の1ヶ月の手取り収入額を以下よりお選びください。(SA)

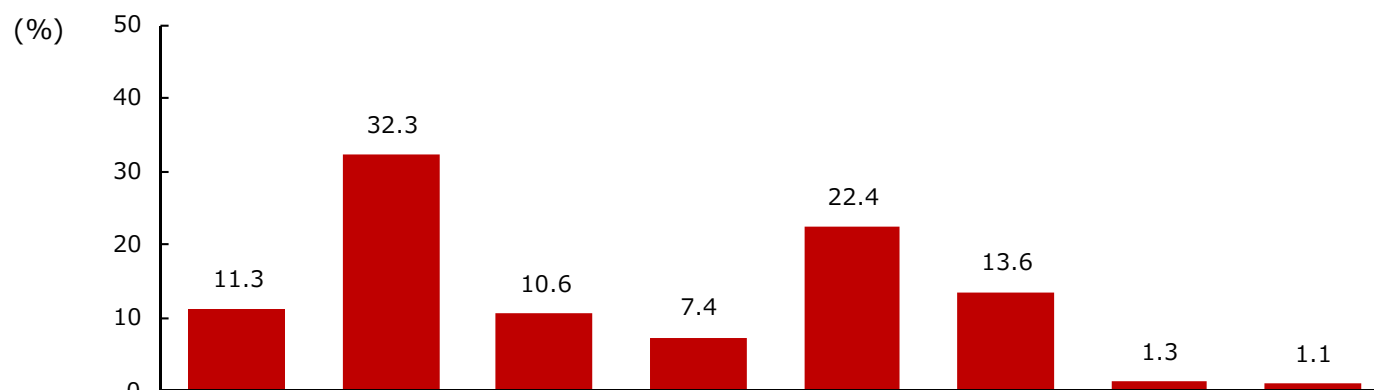


		回 答 者 数	5 万 円 未 満	1 5 0 万 円 以 上 未 満	2 1 0 0 万 万 円 円 未 以 満 上	3 2 0 0 万 万 円 円 未 以 満 上	4 3 0 0 万 万 円 円 未 以 満 上	5 4 0 0 万 万 円 円 未 以 満 上	1 5 0 0 万 円 以 上 未 満	1 1 5 0 0 0 万 円 円 未 以 満 上	2 1 0 5 0 0 万 円 円 未 以 満 上	2 2 5 0 0 0 万 円 円 未 以 満 上	3 2 0 5 0 0 万 円 円 未 以 満 上	3 3 5 0 0 0 万 円 円 未 以 満 上	3 5 0 万 円 以 上	答 わ え か ら な い ／
全 体		700	0.9	3.6	13.9	12.9	17.1	14.1	15.3	4.7	2.4	2.4	1.7	2.6	4.7	3.7
居住国	中国	100	-	1.0	12.0	18.0	13.0	13.0	7.0	5.0	4.0	5.0	4.0	9.0	7.0	2.0
	台湾	100	3.0	2.0	19.0	8.0	21.0	21.0	12.0	1.0	-	1.0	1.0	5.0	5.0	1.0
	韓国	100	1.0	3.0	8.0	9.0	14.0	19.0	25.0	5.0	2.0	3.0	1.0	3.0	4.0	3.0
	タイ	100	2.0	11.0	30.0	15.0	9.0	4.0	5.0	7.0	3.0	6.0	3.0	1.0	2.0	2.0
	アメリカ	100	-	6.0	4.0	5.0	14.0	11.0	25.0	10.0	5.0	-	1.0	-	8.0	11.0
	イタリア	100	-	-	10.0	24.0	20.0	15.0	15.0	1.0	1.0	2.0	2.0	-	5.0	5.0
	フランス	100	-	2.0	14.0	11.0	29.0	16.0	18.0	4.0	2.0	-	-	-	2.0	2.0

日本旅行について：旅行形態

- 「夫婦二人での旅行」が32.3%で最も多く、次いで、「子連れの家族旅行」が22.4%と家族での旅行が5割以上を占める。
- ・属性別にみると、「少人数での旅行（ひとり旅、夫婦、恋人との旅行）」の割合が、＜中国＞、＜アメリカ＞、＜イタリア＞、＜フランス＞では60%を超えている。一方で、＜台湾＞、＜韓国＞、＜タイ＞では、その割合は40%程度で、「家族での旅行（親連れ・子連れ旅行）」や、「友人との旅行」の割合が高い傾向にある。

Q4. 日本旅行に行く際には、どのような方たちと一緒に旅行すると思いますか。(SA)



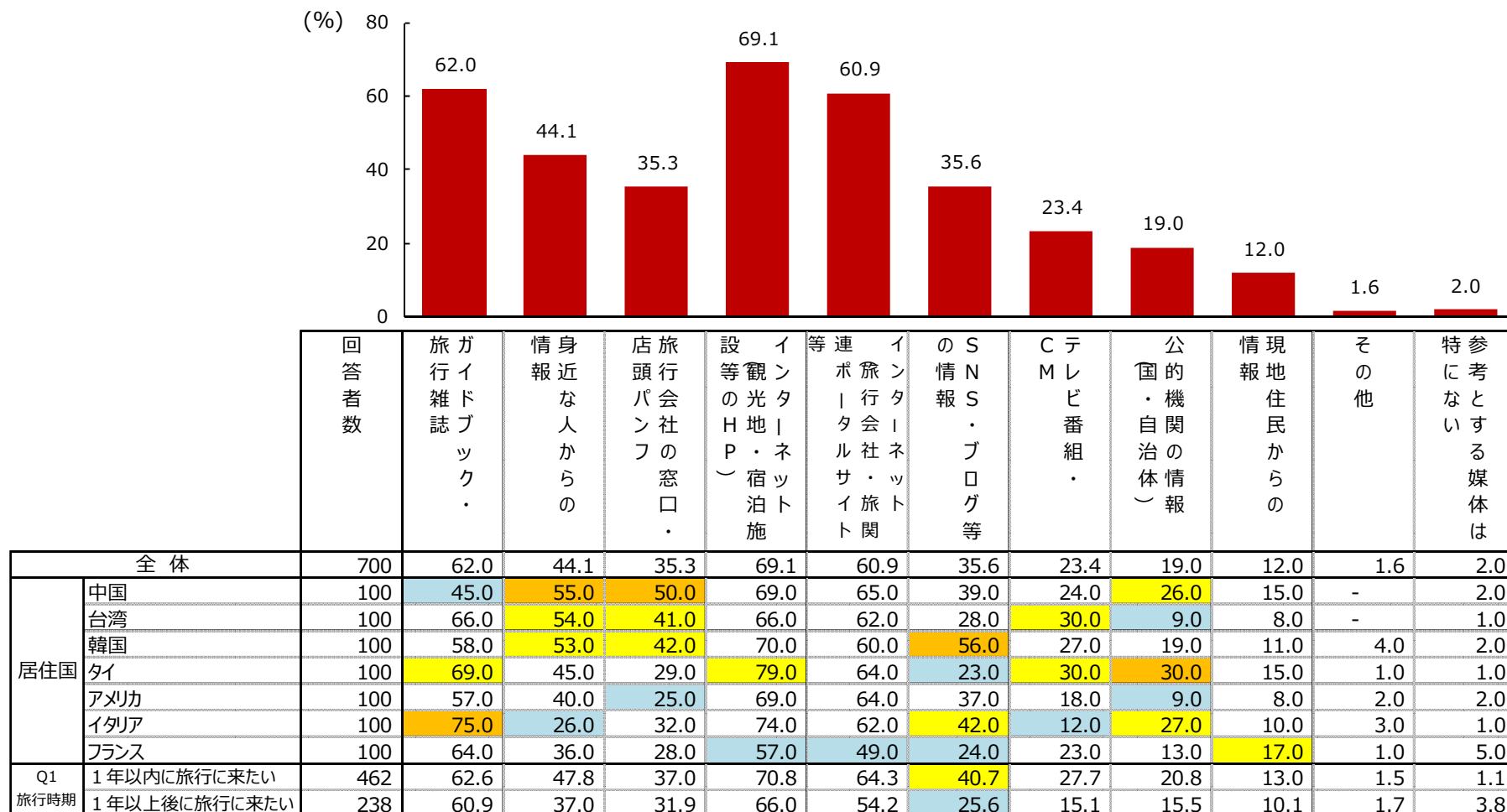
		回答者数	ひとり旅	夫婦二人での旅行	恋人との旅行	親連れ家族旅行	子連れの家族旅行	友人との旅行	職場等の旅行	その他
全 体		700	11.3	32.3	10.6	7.4	22.4	13.6	1.3	1.1
居住国	中国	100	15.0	37.0	9.0	3.0	25.0	11.0	-	-
	台湾	100	3.0	26.0	11.0	8.0	27.0	22.0	2.0	1.0
	韓国	100	13.0	14.0	9.0	13.0	29.0	18.0	1.0	3.0
	タイ	100	8.0	25.0	11.0	15.0	26.0	11.0	4.0	-
	アメリカ	100	17.0	42.0	7.0	8.0	15.0	9.0	1.0	1.0
	イタリア	100	9.0	32.0	22.0	3.0	20.0	14.0	-	-
	フランス	100	14.0	50.0	5.0	2.0	15.0	10.0	1.0	3.0

日本旅行について：旅行準備中に利用する情報媒体

●旅行準備中の情報源としては、「インターネット（観光地・宿泊地等のHP）」の割合が最も高く、69.1%となっており、「ガイドブック・旅行雑誌」(62.0%)、「インターネット（旅行会社・旅関連ポータルサイト等）」(60.9%)も60%以上の人が参考とする情報源となっている。

・属性別にみると、旅行時期別では、おおむね同様の傾向だが、＜1年以内に旅行に来たい＞と考えている人は、「SNS・ブログ等の情報」を参考とする割合が、＜1年以上後に旅行に来たい＞人より15.1ポイント高くなっており、より深い情報収集のシーンでは「SNS・ブログ等」を参考とする場面が増えていることがわかる。

Q5-1. 日本旅行の際の“旅行準備中”の情報源として、何を利用すると思いますか。(MA)



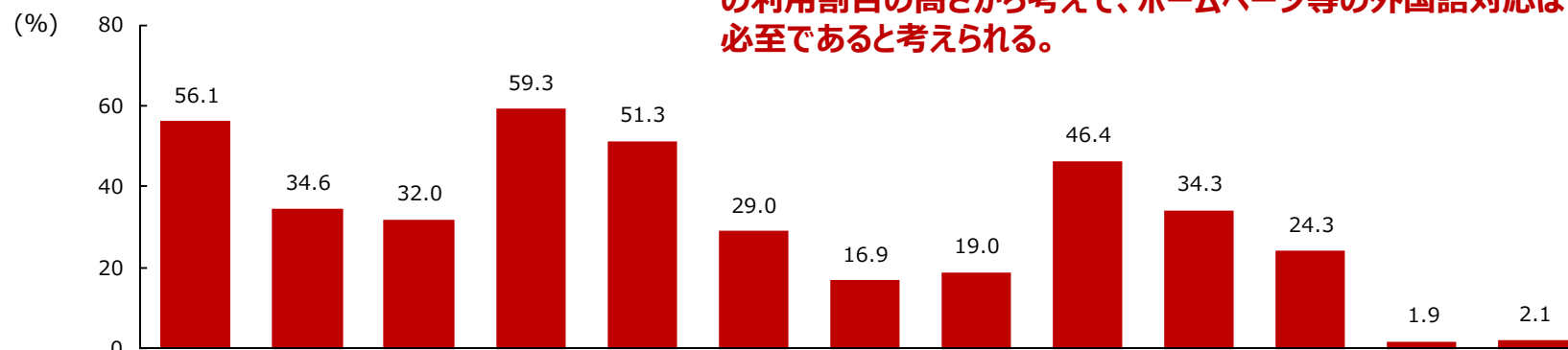
日本旅行について：日本滞在中に利用する情報媒体

●日本滞在中の情報源としては、「インターネット（観光地・宿泊地等のHP）」の割合が最も高く59.3%、ほぼ同じく「ガイドブック・旅行雑誌」が56.1%、「インターネット（旅行会社・旅関連ポータルサイト等）」(51.3%)と続いていて、旅行準備中の参考情報媒体と概ね同様の傾向が見て取れる。

・属性別にみると、＜訪日経験あり＞では、オンライン情報媒体を利用する割合が＜訪日経験なし＞より高い傾向にあり、インターネットの利用の実態の高さがうかがえる。

Q5-2. 日本旅行の際の“日本滞在時”の情報源として、何を利用すると思いますか。(MA)

特に実際に日本を訪れたことのある外国人のオンライン情報媒体の利用割合の高さから考えて、ホームページ等の外国語対応は必至であると考えられる。



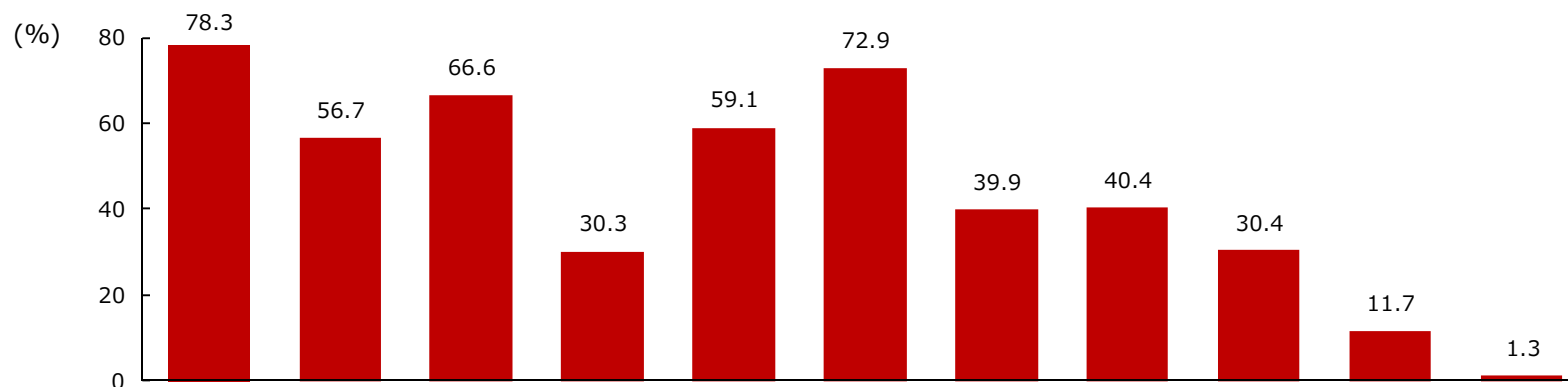
		回答者数	旅行ガイドブック・旅行雑誌	身近な人からの情報	旅行会社の窓口・店頭パンフ	インターネット（観光地・宿泊施設等のHP）	オンライン旅行会社・ポータルサイト等	SNS・ブログ等の情報	テレビ番組・CM	公共機関の自治体情報（国・自治体）	現地の観光案内所	宿泊先からのホテル情報の従業員からの情報	現地住民からの情報	その他	参考としない媒体は
全 体		700	56.1	34.6	32.0	59.3	51.3	29.0	16.9	19.0	46.4	34.3	24.3	1.9	2.1
居住国	中国	100	39.0	44.0	36.0	67.0	62.0	36.0	27.0	26.0	39.0	37.0	24.0	-	2.0
	台湾	100	55.0	35.0	35.0	61.0	47.0	19.0	12.0	9.0	46.0	25.0	21.0	1.0	3.0
	韓国	100	52.0	45.0	40.0	65.0	59.0	45.0	18.0	17.0	48.0	28.0	22.0	3.0	2.0
	タイ	100	62.0	42.0	31.0	65.0	61.0	26.0	23.0	29.0	47.0	45.0	26.0	2.0	1.0
	アメリカ	100	58.0	18.0	13.0	55.0	47.0	25.0	13.0	12.0	59.0	51.0	33.0	4.0	1.0
	イタリア	100	67.0	26.0	39.0	61.0	49.0	29.0	14.0	25.0	46.0	31.0	17.0	-	1.0
	フランス	100	60.0	32.0	30.0	41.0	34.0	23.0	11.0	15.0	40.0	23.0	27.0	3.0	5.0
SQ2 訪日経験	訪日経験あり	311	53.1	41.2	34.7	65.0	57.9	36.7	21.2	18.6	46.6	32.8	23.8	1.0	1.6
	訪日経験なし	389	58.6	29.3	29.8	54.8	46.0	22.9	13.4	19.3	46.3	35.5	24.7	2.6	2.6

日本旅行について：興味のある日本の文化

●興味のある日本文化については、「食」の割合が78.3%で最も高く、次いで「自然や景勝地」(72.9%)、「伝統的な文化」(66.6%)、「歴史的な建物や寺社仏閣」(59.1%)と続く。

・＜アメリカ＞、＜イタリア＞では、日本の歴史や伝統に関する文化について、興味・関心度が高い。反対に、＜韓国＞では、日本の歴史や伝統に関することについては、興味・関心度が低い。

SQ4. あなたは以下の日本の文化などに関して、興味がありますか。(MA)

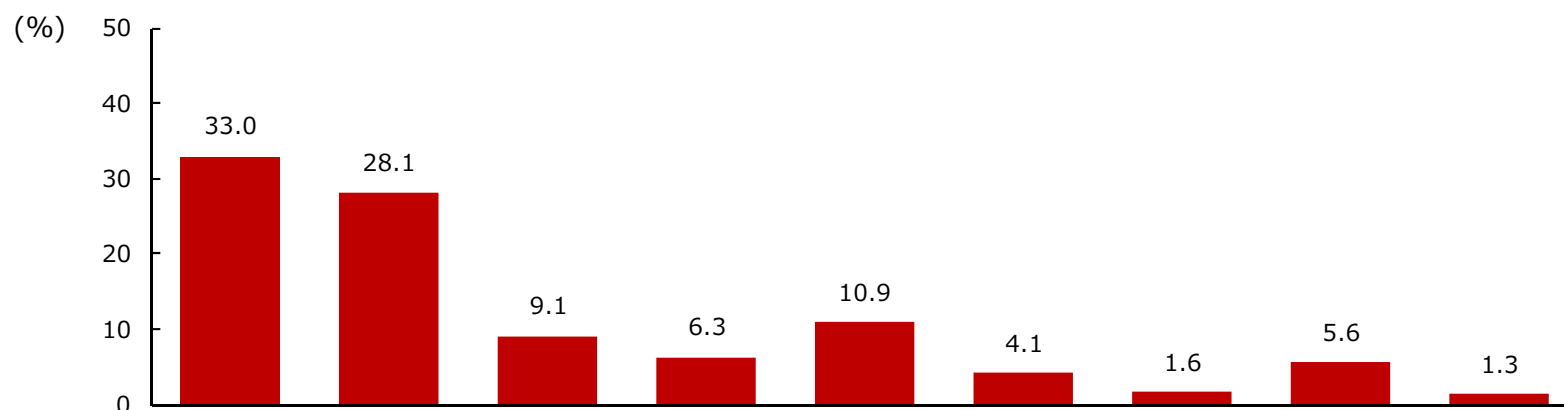


		回答者数	日本の食に興味がある	日本の歴史に興味がある	日本の伝統的な文化に興味がある	日本の伝統的な産業に興味がある	日本の歴史的な建物や寺社仏閣に興味がある	日本の自然や景勝地に興味がある	電化製品など、日本で作られている製品に興味がある	日本のポップカルチャー、音楽、テレビ番組、映画、漫画などに興味がある	日本のファッションに興味がある	上記以外の日本文化に興味がある	日本の文化などにはない興味
全 体		700	78.3	56.7	66.6	30.3	59.1	72.9	39.9	40.4	30.4	11.7	1.3
居住国	中国	100	83.0	49.0	55.0	30.0	48.0	74.0	47.0	50.0	43.0	6.0	-
	台湾	100	75.0	52.0	60.0	21.0	65.0	78.0	47.0	40.0	35.0	9.0	-
	韓国	100	81.0	22.0	44.0	24.0	40.0	58.0	34.0	39.0	20.0	5.0	4.0
	タイ	100	80.0	60.0	76.0	34.0	58.0	81.0	53.0	37.0	33.0	22.0	2.0
	アメリカ	100	82.0	78.0	77.0	25.0	73.0	75.0	35.0	37.0	39.0	8.0	1.0
	イタリア	100	74.0	82.0	87.0	55.0	77.0	76.0	33.0	37.0	23.0	23.0	-
	フランス	100	73.0	54.0	67.0	23.0	53.0	68.0	30.0	43.0	20.0	9.0	2.0
SQ2 訪日経験	訪日経験あり	311	83.6	56.6	63.0	30.5	63.0	73.0	48.6	45.3	37.6	9.6	-
	訪日経験なし	389	74.0	56.8	69.4	30.1	56.0	72.8	32.9	36.5	24.7	13.4	2.3

日本旅行について：旅行の際の主な交通手段

- 「新幹線」(33.0%)、「新幹線以外の鉄道、地下鉄」(28.1%)を合わせた“鉄道”が、日本旅行の主な移動手段となっている。
- ・属性別には、各国とも、最も割合が高いのは、“鉄道”となっている。

Q6. 日本国内を旅行する際には主にどのような交通手段を利用すると思いますか。(SA)

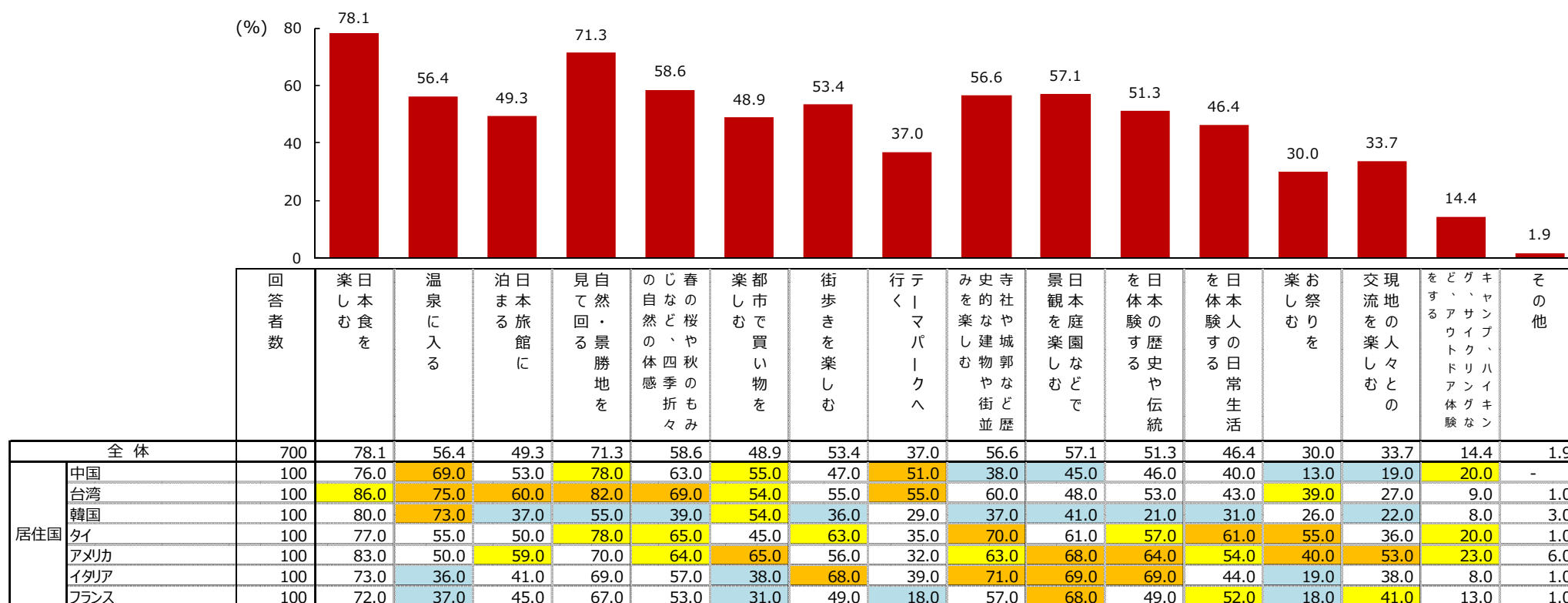


		回答者数	新幹線	新幹線以外の鉄道、地下鉄	バス	タクシー	レンタカー	飛行機	自転車	徒歩	その他
全 体		700	33.0	28.1	9.1	6.3	10.9	4.1	1.6	5.6	1.3
居住国	中国	100	53.0	14.0	8.0	14.0	5.0	4.0	-	1.0	1.0
	台湾	100	42.0	35.0	13.0	-	7.0	1.0	-	2.0	-
	韓国	100	29.0	41.0	15.0	3.0	7.0	-	1.0	2.0	2.0
	タイ	100	20.0	48.0	3.0	5.0	13.0	1.0	2.0	7.0	1.0
	アメリカ	100	24.0	16.0	12.0	12.0	16.0	1.0	4.0	12.0	3.0
	イタリア	100	41.0	25.0	4.0	4.0	9.0	13.0	1.0	3.0	-
	フランス	100	22.0	18.0	9.0	6.0	19.0	9.0	3.0	12.0	2.0

日本旅行について：日本旅行で期待するもの

- 日本旅行への期待としては、「食」が78.1%で最も高く、「自然・景勝地」が71.3%と続いている。
- ・ 属性別にみると、東アジアの3か国では、他の国に比べ、「温泉に入る」の割合が各国とも高く、70%程度見られるなど、東アジアと欧米では嗜好が分かれる傾向にある。また、<タイ>は東アジアよりも欧米に近い。

Q7. あなたは日本への観光旅行について、どのような部分に期待を抱きますか。(MA)



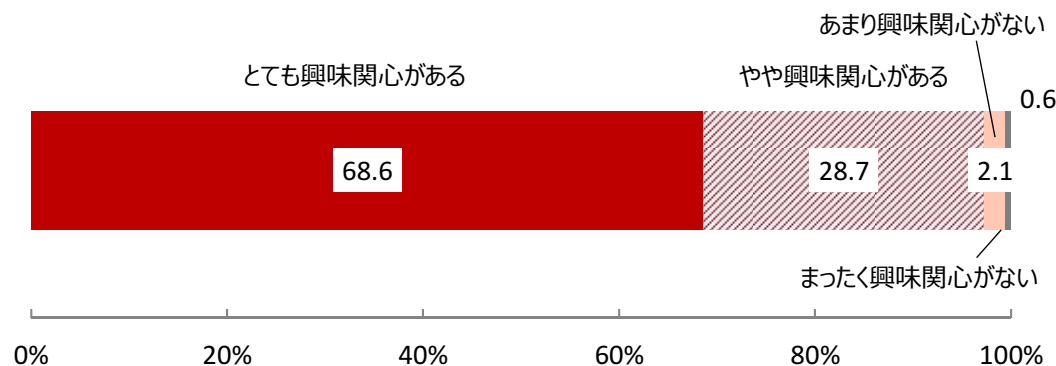
中播磨、但馬地区への旅行について：中播磨、但馬地区への旅行の興味・関心

● 中播磨地区、但馬地区への旅行について、「とても興味関心がある」と答えた人が68.6%で、「やや興味がある」と答えた人(28.7%)と合わせて、97.3%が「興味関心がある」と回答している。

・属性別にみると、＜アメリカ＞、＜イタリア＞、＜フランス＞の欧米で「とても興味関心がある」が75%以上と高く、東アジアは6割台に留まっている。中でも＜韓国＞では、「とても興味関心がある」の割合は40.0%となっている。

Q8. 中播磨地区、但馬地区への旅行についてどの程度興味関心がありますか。(SA)

※本設問については、中播磨地区、但馬地区を紹介する文章と写真を見せながら回答いただいた。



		回答者数	とても興味関心がある	やや興味関心がある	あまり興味関心がない	まったく興味関心がない
全 体		700	68.6	28.7	2.1	0.6
居住国	中国	100	67.0	30.0	3.0	-
	台湾	100	65.0	34.0	1.0	-
	韓国	100	40.0	52.0	6.0	2.0
	タイ	100	71.0	27.0	2.0	-
	アメリカ	100	83.0	15.0	1.0	1.0
	イタリア	100	75.0	24.0	1.0	-
	フランス	100	79.0	19.0	1.0	1.0
	その他	100	68.0	28.0	2.0	2.0
SQ2 訪日経験	訪日経験あり	311	68.8	28.6	2.6	-
	訪日経験なし	389	68.4	28.8	1.8	1.0

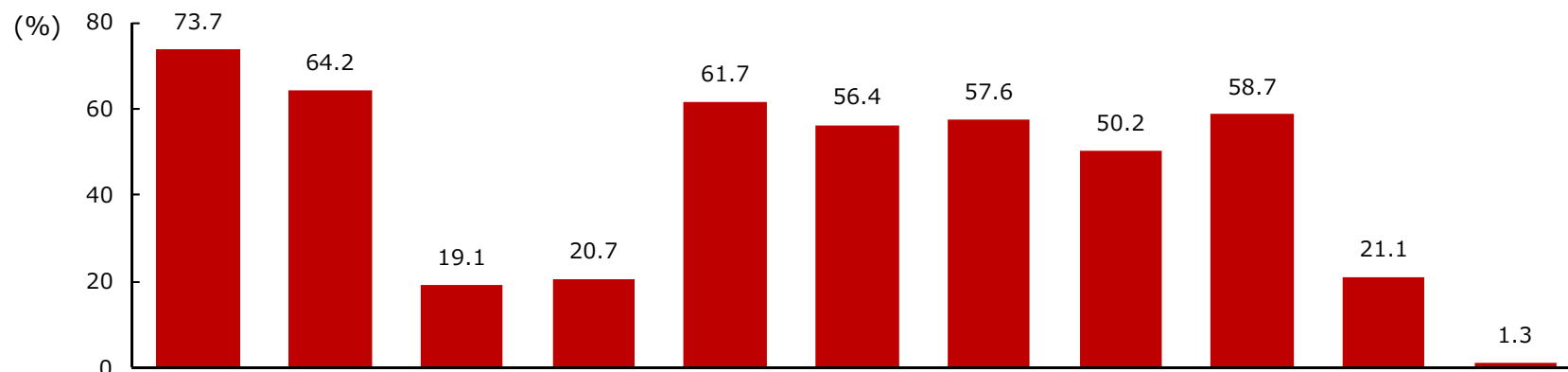
中播磨、但馬地区への旅行について：中播磨、但馬地区へ旅行の興味・関心を持った理由

●中播磨地区、但馬地区への旅行に興味関心を持った理由としては、「姫路城が見たい」からと答えた人が73.7%で最も多く次いで、「温泉に入りたい」(64.2%)、「自然に触れたい」(61.7%)と続く。

・属性別にみると、＜アジア＞では、「温泉に入りたい」の割合が高い傾向にある。＜欧米＞では、「竹田城に行きたい」や「歴史的な建築物を見たい」の割合が高い傾向にある。また、＜タイ＞は多くの事に興味・関心を持っている。

Q9. 中播磨地区、但馬地区への旅行に興味関心がある理由としてあてはまるものをお選びください。(MA)

※ Q8で中播磨地区、但馬地区への旅行に興味関心があると答えた方へのみ聴取

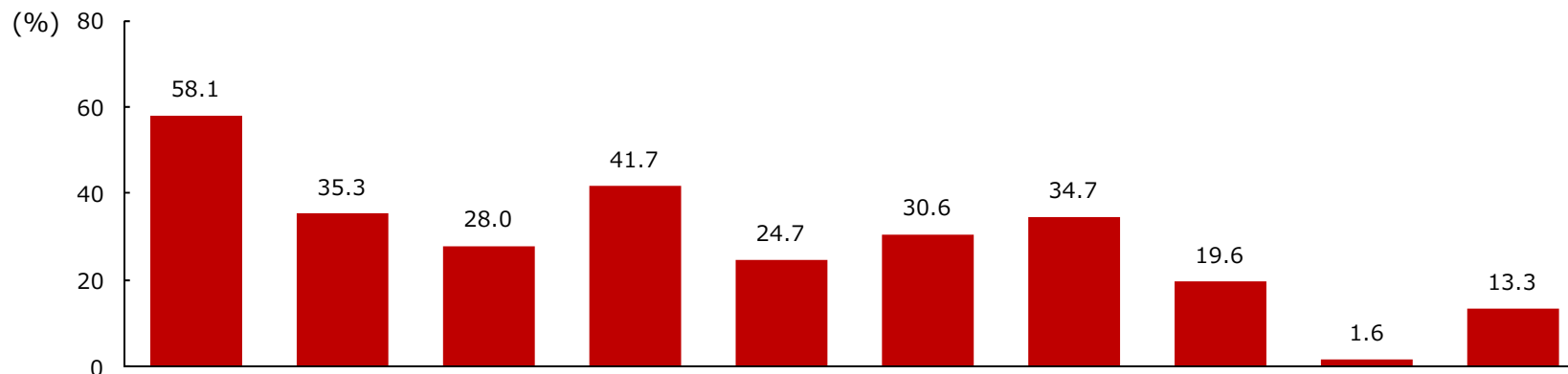


		回答者数	姫路城が見たい	温泉に入りたい	ポロツを楽しみたい	スキーやスノーボードなど、アクティビティをしたい	自然に触れたい	竹田城跡に行きたい	歴史的な建築物を見たい	歴史的な遺産・遺構を見たい	但馬牛や名産品を食べたい	農家に宿泊したい	その他
全 体		681	73.7	64.2	19.1	20.7	61.7	56.4	57.6	50.2	58.7	21.1	1.3
居住国	中国	97	62.9	71.1	23.7	32.0	68.0	51.5	49.5	42.3	54.6	15.5	-
	台湾	99	74.7	69.7	31.3	14.1	59.6	48.5	57.6	48.5	65.7	18.2	-
	韓国	92	54.3	71.7	8.7	10.9	57.6	39.1	37.0	28.3	57.6	13.0	3.3
	タイ	98	82.7	69.4	27.6	27.6	72.4	51.0	52.0	60.2	65.3	35.7	1.0
	アメリカ	98	75.5	50.0	15.3	21.4	60.2	59.2	66.3	59.2	58.2	15.3	3.1
	イタリア	99	88.9	66.7	15.2	21.2	55.6	73.7	68.7	57.6	50.5	24.2	-
	フランス	98	75.5	51.0	11.2	17.3	58.2	70.4	70.4	54.1	59.2	25.5	2.0
SQ2 訪日経験	訪日経験あり	303	71.0	67.3	27.7	23.1	62.7	53.8	55.8	47.5	59.7	18.5	0.3
	訪日経験なし	378	75.9	61.6	12.2	18.8	60.8	58.5	59.0	52.4	57.9	23.3	2.1

中播磨、但馬地区への旅行について：産業的な遺物・遺跡への興味・関心

- 産業的な遺産・遺構について興味・関心を持つ理由としては、「歴史的な建物や遺跡を見るのが好きだから」と答えた人が58.1%で最も多く、「歴史的な建物や遺跡を写真に撮るのが好きだから」が、41.7%で2番目に多い。
- ・属性別にみると、主たる傾向は各国同じであるが、＜台湾＞と＜韓国＞では「興味関心がない」と回答した人が20%を超えて高く、＜アメリカ＞では、「廃墟が好きだから」の割合が45.0%と他の国に比べて大幅に高くなっている。

Q10. あなたは、「鉱山・炭鉱跡」や「工場跡」のような、ある時代において、その地域に根付いていた、産業の姿を伝える遺物や遺跡を観光地化したものに興味関心はありますか。また、興味があるとしたら、そのような遺物や遺跡に興味関心を持たれる理由を教えてください。(MA)



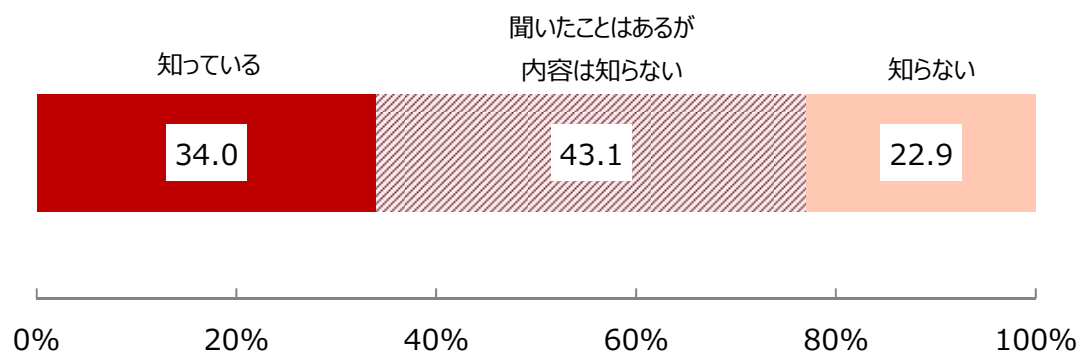
回答者数		歴史的な建物や遺跡を見るのが好きだから	産業的な遺産・遺構の歴史を知りたいから	当時の生活の様子が見たいから	当時の仕事の様子が見たいから	歴史的な建物や遺跡を写真に撮るのが好きだから	その時代の歴史を知りたいから	当時の生活の様子が見たいから	当時の仕事の様子が見たいから	廃墟が好きだから	その他	このようにあまりない興味
全 体		700	58.1	35.3	28.0	41.7	24.7	30.6	34.7	19.6	1.6	13.3
居住国	中国	100	59.0	34.0	35.0	44.0	35.0	34.0	39.0	9.0	-	7.0
	台湾	100	50.0	23.0	22.0	39.0	22.0	20.0	31.0	12.0	-	23.0
	韓国	100	51.0	21.0	12.0	34.0	12.0	22.0	28.0	2.0	3.0	24.0
	タイ	100	59.0	44.0	31.0	47.0	31.0	41.0	37.0	20.0	2.0	12.0
	アメリカ	100	68.0	52.0	33.0	44.0	29.0	30.0	29.0	45.0	3.0	8.0
	イタリア	100	57.0	40.0	36.0	46.0	25.0	29.0	43.0	22.0	2.0	8.0
	フランス	100	63.0	33.0	27.0	38.0	19.0	38.0	36.0	27.0	1.0	11.0

日本遺産について：日本遺産の認知度

- 日本遺産を「知っている」と答えた人が34.0%で、3割以上が日本遺産という言葉を知っていると回答した。
- ・ 属性別には、＜中国＞では、47.0%が日本遺産を「知っている」と回答しており、＜アメリカ＞、＜イタリア＞でも、41.0%が「知っている」と回答している。

※但し、国内WEB調査と同様に、世界遺産等の他遺産と勘違いしている可能性や誤答が多いと予想され、実際の認知度と乖離している恐れがある。

Q11. 『日本遺産』という言葉をご存知ですか。(SA)



		回答者数	知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	知らない
全 体		700	34.0	43.1	22.9
居住国	中国	100	47.0	33.0	20.0
	台湾	100	38.0	51.0	11.0
	韓国	100	22.0	37.0	41.0
	タイ	100	25.0	63.0	12.0
	アメリカ	100	41.0	27.0	32.0
	イタリア	100	41.0	44.0	15.0
	フランス	100	24.0	47.0	29.0

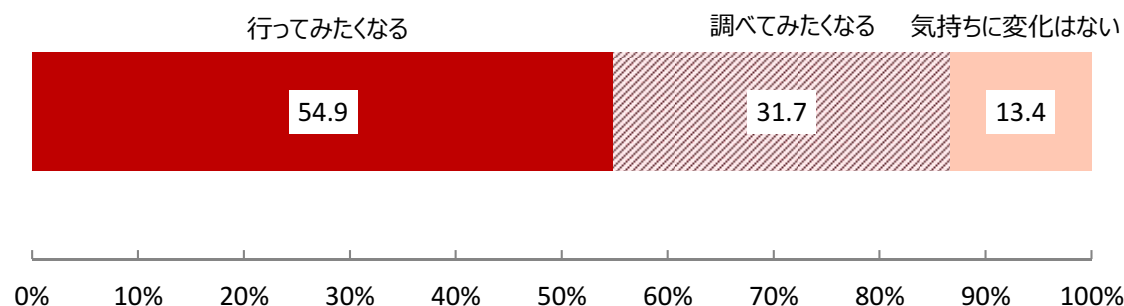
日本遺産について：日本遺産に認定されていることが分かった場合の、その地域への興味・関心の変化

●日本遺産に認定されていることが分かった場合、「行ってみたくなる」と答えた人は54.9%、「調べてみたくなる」と答えた人は31.7%で、86.6%の人が、日本遺産に認定されていることを知った場合、興味・関心が増すと回答した。

・属性別にみると、＜タイ＞では、「行ってみたくなる」と答えた人が71.0%と7割を超えている。また、＜中国＞、＜台湾＞、＜イタリア＞でも、60%以上の人が「行ってみたくなる」と回答している。一方＜アメリカ＞では、「行ってみたくなる」の割合は34.0%に留まっている。また、＜韓国＞では、「気持ちに変化はない」の割合が34.0%と3割を超えている。

国内調査と同様に、「日本遺産」という言葉の求訴力は高いことがうかがえる。

Q12.『日本遺産』に認定されていることが分かった場合、その地域への興味・関心はに変化はありますか。(SA)



		回答者数	行ってみたくなる	調べてみたくなる	気持ちに変化はない
全 体		700	54.9	31.7	13.4
居住国	中国	100	61.0	33.0	6.0
	台湾	100	61.0	32.0	7.0
	韓国	100	43.0	23.0	34.0
	タイ	100	71.0	24.0	5.0
	アメリカ	100	34.0	46.0	20.0
	イタリア	100	65.0	32.0	3.0
	フランス	100	49.0	32.0	19.0

日本遺産について：当日本遺産への来訪意向

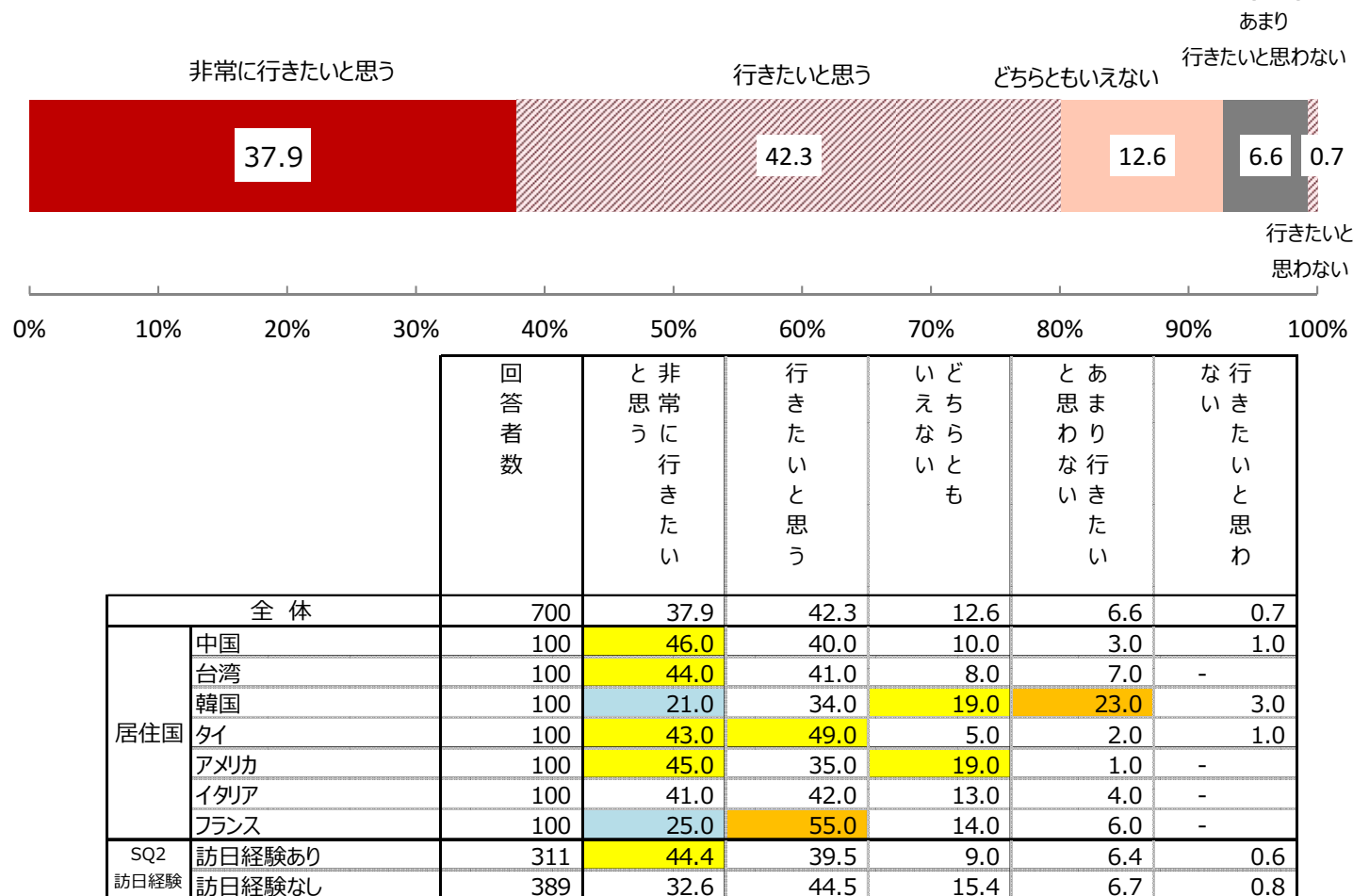
●当日本遺産への訪問意向についてお聞きしたところ、「非常に行きたいと思う」が37.9%、「行きたいと思う」が42.3%で、80.2%が“行きたい”と回答している。

・属性別にみると、国別では、＜韓国＞＜フランス＞以外の国では、40%以上が「非常に行きたいと思う」と回答している。

・訪日経験あり/なしでは、＜訪日経験あり＞の「非常に行きたいと思う」の割合は44.4%で、＜訪日経験なし＞より、11.8ポイント高くなっている。

外国人旅行者に対して、観光地としてのポテンシャルがあることを示す結果となっている。

Q13. (説明文と写真を見て) 上記のような歴史や文化財を持つ、「播但貫く 銀の馬車道 鉱石の道」を訪れてみたいと思いますか。(SA)



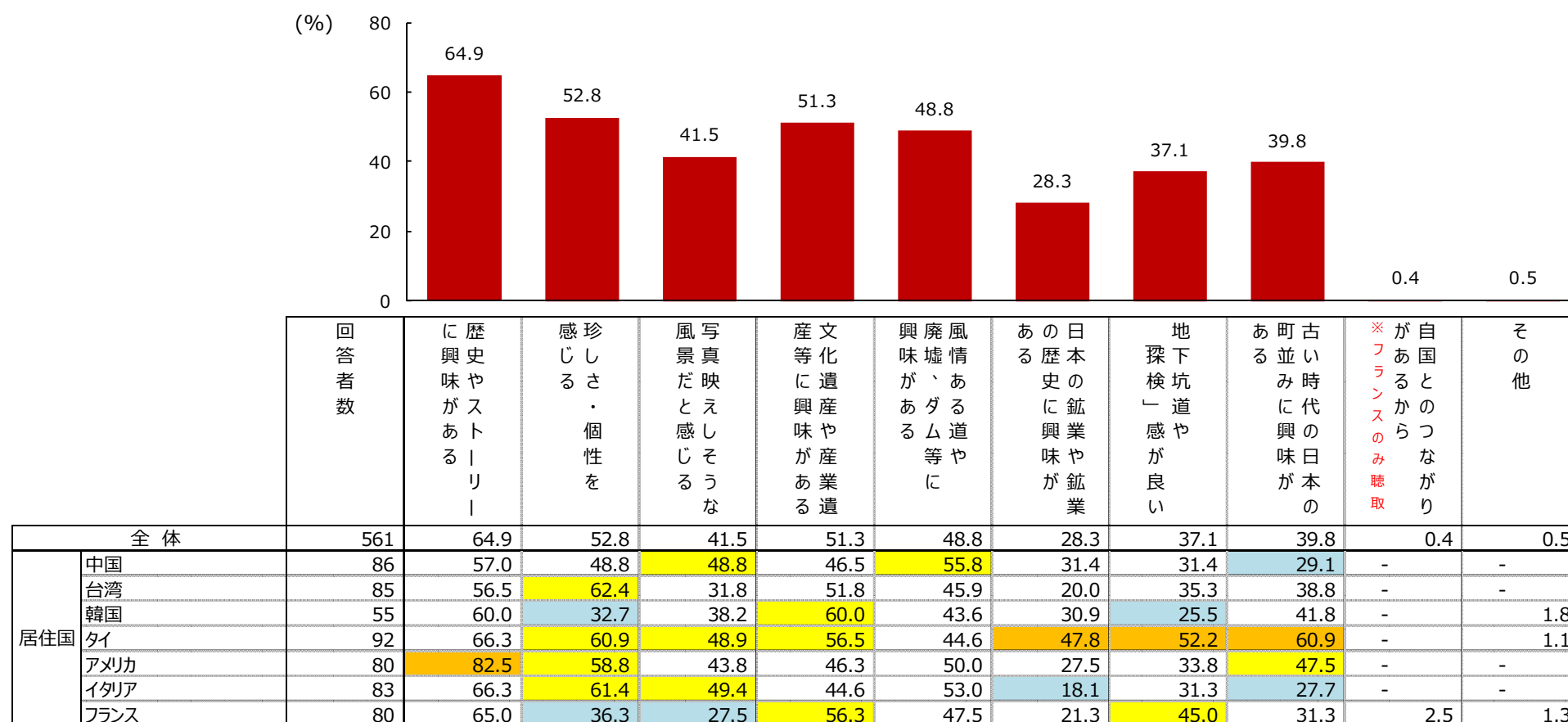
日本遺産について：当日本遺産へ興味・関心を持つ理由

●当日本遺産に訪れたいと思った理由として、「歴史やストーリーに興味がある」と答えた人が64.9%で最も多かった。「珍しさ・個性を感じる」(52.8%)、「文化遺産や産業遺産等に興味がある」(51.3%)も50%を超え高くなっている。

・属性別にみると、いずれの国でも「歴史やストーリーに興味がある」の割合が最も高く、中でも<アメリカ>では82.5%と8割を超えている。<タイ>では、「地下坑道や「探検」感が良い」(52.2%)、「古い時代の日本の町並みに興味がある」(60.9%)といった項目の割合が、他の国に比べて目立って高い。

Q14. この日本遺産に訪れてみたいと思った理由をお聞かせください。(MA)

※Q13で行きたいと思うと答えた人へのみ聴取

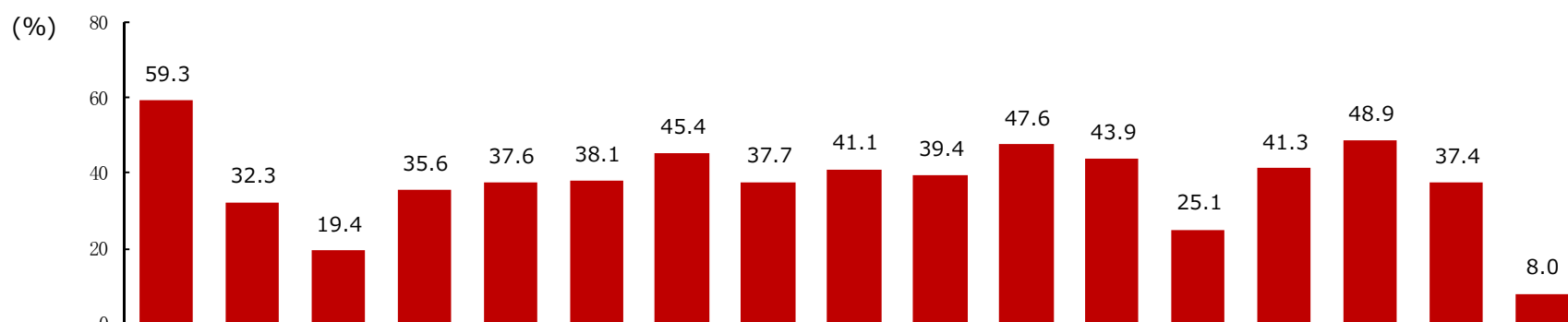


日本遺産について：当日本遺産構成文化財への興味・関心

●当日本遺産の各構成資産についての興味・関心をお聞きしたところ、「生野鉱山寮 馬車道跡」を選んだ人の割合が59.3%で最も高かった。次いで、「明延鉱山関連遺構」(48.9%)、「神子畑鑄鉄橋・羽淵鑄鉄橋」(47.6%)、「栗賀町」(45.4%)、「神子畑選鉱場」(43.9%)の割合も40%を超えている。

・属性別にみると、＜韓国＞については、当日本遺産構成文化財への興味度が全体的に低く、「特になし」の割合が22.0%と、他の国に比べ大幅に高い。

Q15. この日本遺産の構成文化財で、興味湧くものがあれば、いくつでもお選びください。(MA)



		回答者数	生野鉱山寮	飾磨津物揚場跡	馬車道修築碑	辻川町	三木家住宅	屋形町	栗賀町	竹内家住宅	生野鉱山関連遺構	生野鉱山町	羽淵鑄鉄橋・神子畑鑄鉄橋	神子畑選鉱場跡	旧神子畑鉱山事務所（旧宅）	明延鉱山明神電車	明延鉱山町関連遺構	明延鉱山町関連遺構	中瀬鉱山町関連遺構	中瀬鉱山町関連遺構	特になし
全 体		700	59.3	32.3	19.4	35.6	37.6	38.1	45.4	37.7	41.1	39.4	47.6	43.9	25.1	41.3	48.9	37.4	37.4	8.0	
居住国	中国	100	55.0	27.0	23.0	32.0	46.0	43.0	47.0	39.0	39.0	34.0	35.0	38.0	28.0	36.0	32.0	28.0	5.0		
	台湾	100	69.0	28.0	15.0	40.0	45.0	38.0	52.0	41.0	40.0	32.0	53.0	44.0	25.0	43.0	53.0	37.0	6.0		
	韓国	100	40.0	15.0	8.0	23.0	23.0	24.0	27.0	25.0	23.0	23.0	24.0	34.0	15.0	31.0	32.0	21.0	22.0		
	タイ	100	75.0	45.0	20.0	46.0	46.0	44.0	57.0	44.0	48.0	45.0	68.0	51.0	30.0	57.0	56.0	38.0	5.0		
	アメリカ	100	65.0	37.0	31.0	42.0	29.0	37.0	45.0	39.0	47.0	44.0	60.0	49.0	26.0	34.0	54.0	42.0	5.0		
	イタリア	100	57.0	40.0	20.0	34.0	40.0	40.0	47.0	37.0	54.0	53.0	42.0	45.0	29.0	50.0	56.0	48.0	7.0		
	フランス	100	54.0	34.0	19.0	32.0	34.0	41.0	43.0	39.0	37.0	45.0	51.0	46.0	23.0	38.0	59.0	48.0	6.0		

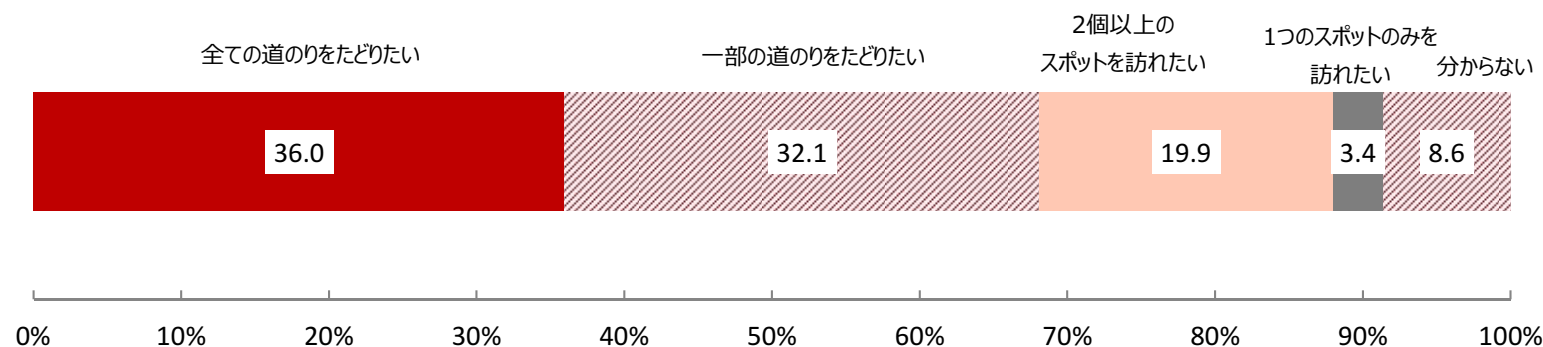
日本遺産について：当日本遺産の巡り方

●当日本遺産について、「全ての道のりをたどりたい」と答えた人は36.0%、「一部の道のりをたどりたい」と答えた人は32.1%で、68.1%が、「道」をたどる巡り方をしたいと回答した。

・属性別には、＜タイ＞で、「全ての道のりをたどりたい」と答えた人が59.0%で最も多い。＜中国＞でも、43.0%が「全ての道のりをたどりたい」と回答している。

「全ての道のりをたどりたい」の割合が30%以上となっており、適切なコースやツアーがあれば、「道」全体を観光地として売り出せる可能性がある。

Q16.「播但貫く 銀の馬車道 鉱石の道」の全ての道のりを観光したいと思いますか。それともスポット的に観光したいと思いますか。(SA)



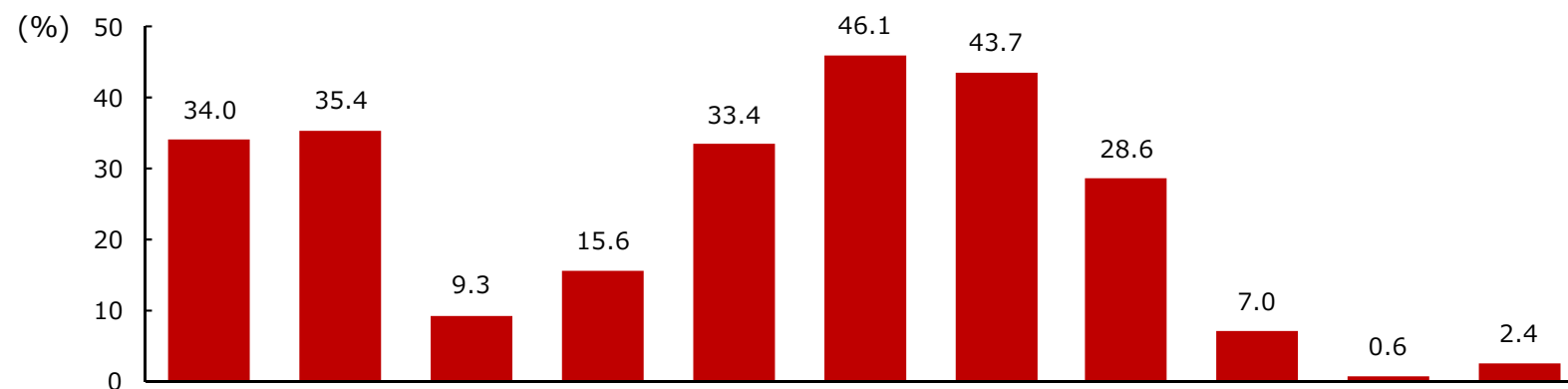
		回答者数	全ての道のりをたどりたい (%)	一部の道のりをたどりたい (%)	2個以上のスポットを訪れたい (%)	1つのスポットのみを訪れたい (%)	分からない (%)
全 体		700	36.0	32.1	19.9	3.4	8.6
居住国	中国	100	43.0	33.0	21.0	-	3.0
	台湾	100	35.0	34.0	24.0	6.0	1.0
	韓国	100	19.0	28.0	22.0	9.0	22.0
	タイ	100	59.0	21.0	15.0	2.0	3.0
	アメリカ	100	39.0	26.0	20.0	2.0	13.0
	イタリア	100	36.0	39.0	14.0	1.0	10.0
	フランス	100	21.0	44.0	23.0	4.0	8.0

日本遺産について：道をたどる場合の、当日本遺産の観光スタイル

●当日本遺産の「道」をたどる旅の場合、「バスツアー」で観光したいと答えた人が46.1%で最も多く、「鉄道・トロッコ」も43.7%と続いている。

・属性別には、＜タイ＞では、「サイクリング」で巡りたいと答えた人が62.0%と6割以上見られる。＜アメリカ＞では、52.0%が「ウォーキング・トレッキング」で巡りたいと回答している。

Q17. もし今後当日本遺産を訪れることになった場合、「播但貫く 銀の馬車道 鉱石の道」の全ての道のりを観光したいと思いますか。それとも、観光地をスポット的に訪れたいと考えますか。(MA)



		回答者数	サイクリング	ウォーキング・トレッキング	ランニング・マラソン	バイクツーリング	ドライビング	バスツアー	鉄道・トロッコ	馬車の旅 (本物の馬)	ゴカート	その他	わからない・行きたいスタイルとしない
全 体		700	34.0	35.4	9.3	15.6	33.4	46.1	43.7	28.6	7.0	0.6	2.4
居住国	中国	100	36.0	47.0	18.0	14.0	29.0	69.0	50.0	36.0	6.0	-	-
	台湾	100	49.0	22.0	-	19.0	28.0	39.0	61.0	27.0	5.0	1.0	-
	韓国	100	20.0	37.0	10.0	19.0	40.0	46.0	34.0	29.0	9.0	1.0	11.0
	タイ	100	62.0	29.0	8.0	24.0	33.0	33.0	50.0	40.0	7.0	1.0	1.0
	アメリカ	100	34.0	52.0	9.0	12.0	37.0	55.0	29.0	21.0	12.0	-	-
	イタリア	100	19.0	26.0	8.0	13.0	38.0	38.0	41.0	22.0	4.0	-	1.0
	フランス	100	18.0	35.0	12.0	8.0	29.0	43.0	41.0	25.0	6.0	1.0	4.0

日本遺産について：当日本遺産のPR方法について

●当日本遺産について、どのような広告表現の方向性であれば行きたい気持ちになるかお聞きしたところ、「ここでしか味わえない、ご当地グルメ」(67.3%)、「ここでしか見られない、美しい風景・景観」(64.9%)、「ここでしか撮れない、フォトジェニックスポット」(62.0%)の割合が比較的高く、“ここだけ感”のある表現が人気であった。

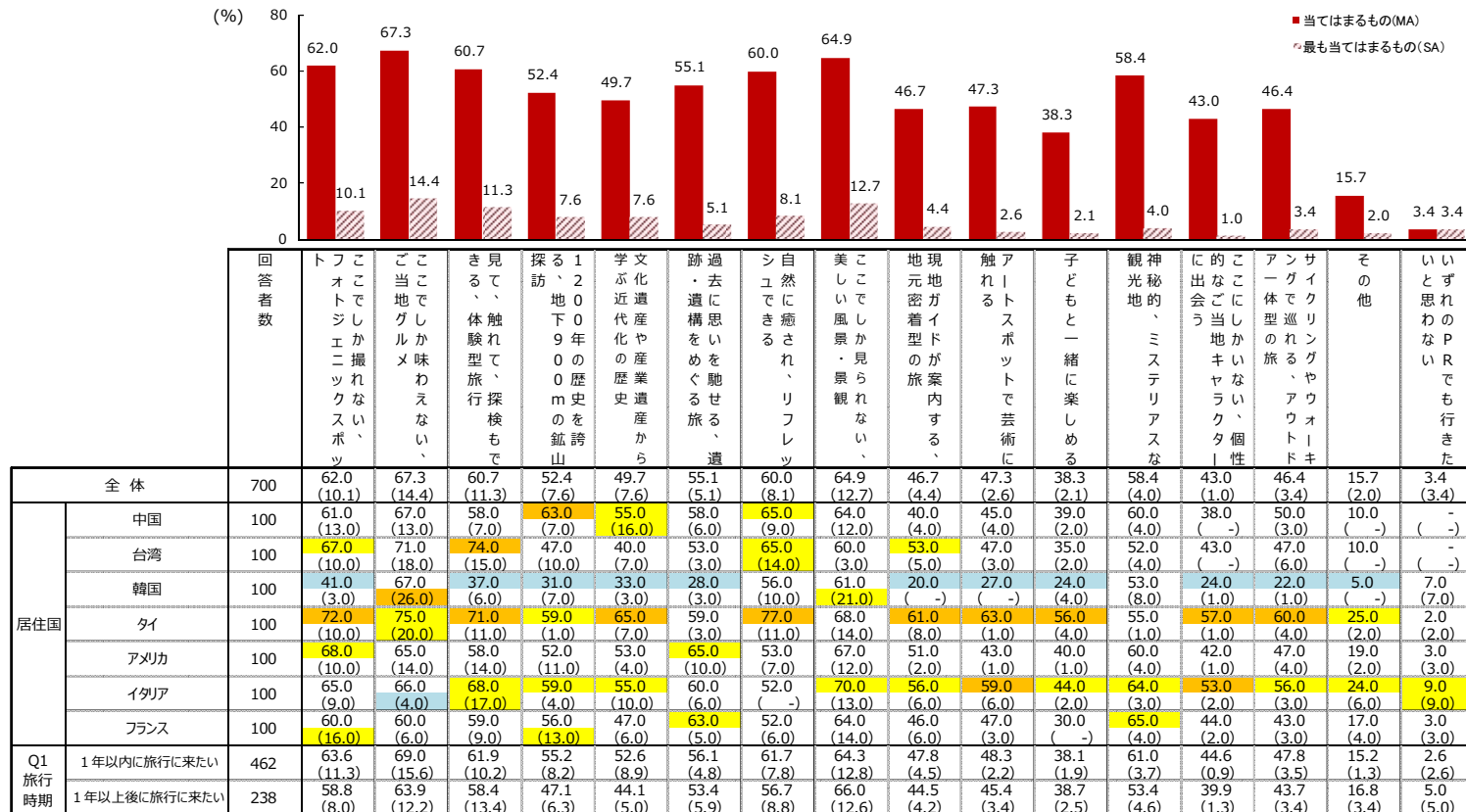
・国別にも、上記の3項目の割合が高い傾向にある。その他、＜タイ＞では、「見て、触れて、探検もできる体験型旅行」(74.0%)、＜フランス＞では、「神秘的、ミステリアスな観光地」(65.0%)の支持も高かった。

国内調査と同様に、「ここでしか～」にはじまるご当地ならではの感の表現は必須。日本遺産の風景や景観に加え、ご当地グルメなども盛り込むことで、オリジナリティを演出することが、各国ともに有効である。

Q18. 当日本遺産のPR法について、どのような広告表現の方向性であれば行きたい気持ちになりますか。(MA)

また、そのうち最もあてはまるもの1つお答えください。(SA)

※上段：行きたい気持ちになると思う広告表現(MA)、下段 () 部分：その中で最も自分にあてはまると思うPR方法(SA)



附録（調査設問）

【スクリーニング調査設問】 ※20歳以上かつSQ2で日本を選択した方を回答者とした。

SC1

あなたの性別をお聞かせください。

- 1 ☐ 男性
2 ☐ 女性

SC2

あなたの年齢をお聞かせください。

- 1 ☐ 20歳未満
2 ☐ 20歳代
3 ☐ 30歳代
4 ☐ 40歳代
5 ☐ 50歳代
6 ☐ 60歳代
7 ☐ 70歳以上

SQ1

あなたが過去に訪れたことがある国を教えてください。(いくつでも)

- | | |
|-----------------------------------|--|
| 1 ☐ 日本 | 13 ☐ ドイツ |
| 2 ☐ 中国 | 14 ☐ スペイン |
| 3 ☐ 香港 | 15 ☐ その他ヨーロッパ |
| 4 ☐ 台湾 | 16 ☐ 米国 |
| 5 ☐ 韓国 | 17 ☐ カナダ |
| 6 ☐ シンガポール | 18 ☐ 中南米 |
| 7 ☐ フィリピン | 19 ☐ オーストラリア |
| 8 ☐ マレーシア | 20 ☐ ニュージーランド |
| 9 ☐ インドネシア | 21 ☐ アフリカ |
| 10 ☐ イギリス | 22 ☐ その他 |
| 11 ☐ イタリア | 23 ☐ 海外旅行には行ったことがない |
| 12 ☐ フランス | |

SQ2

今後あなたが観光で訪問したいと考えている国を教えてください。(いくつでも)

- | | |
|-----------------------------------|---|
| 1 ☐ 日本 | 13 ☐ ドイツ |
| 2 ☐ 中国 | 14 ☐ スペイン |
| 3 ☐ 香港 | 15 ☐ その他ヨーロッパ |
| 4 ☐ 台湾 | 16 ☐ 米国 |
| 5 ☐ 韓国 | 17 ☐ カナダ |
| 6 ☐ シンガポール | 18 ☐ 中南米 |
| 7 ☐ フィリピン | 19 ☐ オーストラリア |
| 8 ☐ マレーシア | 20 ☐ ニュージーランド |
| 9 ☐ インドネシア | 21 ☐ アフリカ |
| 10 ☐ イギリス | 22 ☐ その他 |
| 11 ☐ イタリア | 23 ☐ 海外旅行には行きたいと思わない |
| 12 ☐ フランス | |

SQ3

日本に訪れたことがあると答えた方にお聞きます。
その訪問の目的は以下のどれでしょうか。(いくつでも)

- 1 ☐ 観光
2 ☐ 留学・語学研修、インターンシップ、ワーキングホリデー
3 ☐ 仕事・出張
4 ☐ 観光目的以外で日本を訪れたことがある(親族・友人訪問など)
5 ☐ その他

調査設問

【本調査設問】

Q1

あなたは、何年以内に観光目的で「日本」を訪問したいと考えていますか。
以下よりあてはまるものをお選びください。

- 1 ☐ 半年以内に行きたい
- 2 ☐ 1年以内に行きたい
- 3 ☐ 2～3年以内に行きたい
- 4 ☐ 4～5年以内に行きたい
- 5 ☐ 時期は決まっていないが、いつかは行ってみたい

Q2

日本旅行に行く際には、どのような旅行形態になると思いますか。
以下よりあてはまるものを1つお選びください。

- 1 ☐ 個人旅行(個人手配)
- 2 ☐ 個人旅行(パッケージツアー参加)
- 3 ☐ 団体旅行
- 4 ☐ 職場旅行
- 5 ☐ その他

Q3

世帯全体の1ヶ月の手取り収入額を以下よりお選びください。
月の世帯手取り収入が一定でない場合は、過去1年間の平均の世帯手取り月収をお選びください。

- 1 ☐ 5万円未満
- 2 ☐ 5万円以上10万円未満
- 3 ☐ 10万円以上20万円未満
- 4 ☐ 20万円以上30万円未満
- 5 ☐ 30万円以上40万円未満
- 6 ☐ 40万円以上50万円未満
- 7 ☐ 50万円以上100万円未満
- 8 ☐ 100万円以上150万円未満
- 9 ☐ 150万円以上200万円未満
- 10 ☐ 200万円以上250万円未満
- 11 ☐ 250万円以上300万円未満
- 12 ☐ 300万円以上350万円未満
- 13 ☐ 350万円以上
- 14 ☐ わからない/答えたくない

Q4

日本旅行に行く際には、どのような方たちと一緒に旅行すると思いますか。
以下より当てはまるものをお選びください。

- 1 ☐ ひとり旅
- 2 ☐ 夫婦二人での旅行
- 3 ☐ 恋人との旅行
- 4 ☐ 親連れ家族旅行
- 5 ☐ 子連れの家族旅行
- 6 ☐ 友人との旅行
- 7 ☐ 職場等の団体旅行
- 8 ☐ その他

Q5_1

“旅行準備中”の情報源として、あなたが利用すると思うものを、以下よりいくつかもお選びください。(いくつでも)

- 1 ☐ ガイドブック・旅行雑誌
- 2 ☐ 身近な人からの情報
- 3 ☐ 旅行会社の窓口・店頭パンフ
- 4 ☐ インターネット(観光地・宿泊施設等のHP)
- 5 ☐ インターネット(旅行会社・旅関連ポータルサイト等)
- 6 ☐ SNS・ブログ等の情報
- 7 ☐ テレビ番組・CM
- 8 ☐ 公的機関の情報(国・自治体)
- 9 ☐ 現地の観光案内所
- 10 ☐ 宿泊先のホテルの従業員からの情報
- 11 ☐ 現地住民からの情報
- 12 ☐ その他
- 13 ☐ 参考とする媒体は特にない

Q5_2

“日本滞在時”の情報源として、あなたが利用すると思うものを、以下よりいくつかもお選びください。(いくつでも)

- 1 ☐ ガイドブック・旅行雑誌
- 2 ☐ 身近な人からの情報
- 3 ☐ 旅行会社の窓口・店頭パンフ
- 4 ☐ インターネット(観光地・宿泊施設等のHP)
- 5 ☐ インターネット(旅行会社・旅関連ポータルサイト等)
- 6 ☐ SNS・ブログ等の情報
- 7 ☐ テレビ番組・CM
- 8 ☐ 公的機関の情報(国・自治体)
- 9 ☐ 現地の観光案内所
- 10 ☐ 宿泊先のホテルの従業員からの情報
- 11 ☐ 現地住民からの情報
- 12 ☐ その他
- 13 ☐ 参考とする媒体は特にない

SQ4

あなたは以下の日本の文化などに関して、興味がありますか。
興味のあるものを、以下よりいくつかもお選びください。(いくつでも)

- 1 ☐ 日本の食に興味がある
- 2 ☐ 日本の歴史に興味がある
- 3 ☐ 日本の伝統的な文化に興味がある
- 4 ☐ 日本の伝統的な産業に興味がある
- 5 ☐ 日本の歴史的な建物や寺社仏閣に興味がある
- 6 ☐ 日本の自然や景勝地に興味がある
- 7 ☐ 電化製品など、日本で作られている製品に興味がある
- 8 ☐ 日本のポップカルチャー(音楽、テレビ番組、映画、漫画など)に興味がある
- 9 ☐ 日本のファッションに興味がある
- 10 ☐ 上記以外の日本のことについて興味がある
- 11 ☐ 日本の文化などに対して特に興味はない

【本調査設問】

Q6

あなたは日本への観光旅行について、どのような部分に期待を抱きますか。
特に期待するものを、以下よりいくつかもお選びください。(いくつでも)

- 1 ☐ 日本食を楽しむ
- 2 ☐ 温泉に入る
- 3 ☐ 日本旅館に泊まる
- 4 ☐ 自然・景勝地を見て回る
- 5 ☐ 春の桜や秋のもみじなど、四季折々の自然の体感
- 6 ☐ 都市で買い物を楽しむ
- 7 ☐ 街歩きを楽しむ
- 8 ☐ テーマパークへ行く
- 9 ☐ 寺社や城郭など歴史的な建物や街並みを楽しむ
- 10 ☐ 日本庭園などで景観を楽しむ
- 11 ☐ 日本の歴史や伝統を体験する
- 12 ☐ 日本人の日常生活を体験する
- 13 ☐ お祭りを楽しむ
- 14 ☐ 現地の人々との交流を楽しむ
- 15 ☐ キャンプ、ハイキング、サイクリングなど、アウトドア体験をする
- 16 ☐ その他

Q7

日本国内を旅行する際には主にどのような交通手段を利用すると思いますか。
以下より1つお選びください。

- 1 ☐ 新幹線
- 2 ☐ 新幹線以外の鉄道、地下鉄
- 3 ☐ バス
- 4 ☐ タクシー
- 5 ☐ レンタカー
- 6 ☐ 飛行機
- 7 ☐ 自転車
- 8 ☐ 徒歩
- 9 ☐ その他

日本の近畿地方に、「兵庫県」という県があります。兵庫県は本州の中西部に位置しており、京都府や大阪府に隣接しています。
その兵庫県の中央部に、「中播磨地区」、「但馬地区」という2つの地区があり、この両地区には、観光地として、以下のような特徴があります。
●世界遺産に認定されている「姫路城」という城があります。シラサギが羽を広げたような優美な姿から「白鷺城」とも呼ばれています。
●自然を活かした観光資源(温泉、スキー場、海水浴場、キャンプ場など)も豊富であり、特に城崎温泉などの温泉が有名です。
●城跡や鉱山跡・工場跡など、歴史的な遺産・遺構も多く存在しています。特に『天空の城』と呼ばれる「竹田城跡」が有名です。
●但馬牛やカニといった地域の名産品もあります。
●農家に宿泊し、農業体験や農家の方との交流を楽しめる「農家ステイ」をおこなっている所もあります。



姫路城



城崎温泉(温泉街の町並み)



竹田城跡



名産品(カニ&丹波牛)

Q8

上記の特徴を踏まえ、中播磨地区、但馬地区への旅行についてどの程度興味関心がありますか。

- 1 ☐ とても興味関心がある
- 2 ☐ やや興味関心がある
- 3 ☐ あまり興味関心がない
- 4 ☐ まったく興味関心がない

日本の近畿地方に、「兵庫県」という県があります。兵庫県は本州の中西部に位置しており、京都府や大阪府に隣接しています。
その兵庫県の中央部に、「中播磨地区」、「但馬地区」という2つの地区があり、この両地区には、観光地として、以下のような特徴があります。
●世界遺産に認定されている「姫路城」という城があります。シラサギが羽を広げたような優美な姿から「白鷺城」とも呼ばれています。
●自然を活かした観光資源(温泉、スキー場、海水浴場、キャンプ場など)も豊富であり、特に城崎温泉などの温泉が有名です。
●城跡や鉱山跡・工場跡など、歴史的な遺産・遺構も多く存在しています。特に『天空の城』と呼ばれる「竹田城跡」が有名です。
●但馬牛やカニといった地域の名産品もあります。
●農家に宿泊し、農業体験や農家の方との交流を楽しめる「農家ステイ」をおこなっている所もあります。



姫路城



城崎温泉(温泉街の町並み)



竹田城跡



名産品(カニ&丹波牛)

Q9

中播磨地区、但馬地区への旅行に興味関心がある理由としてあてはまるものを以下より全てお選びください。(いくつでも)

- 1 ☐ 姫路城が見たい
- 2 ☐ 温泉に入りたい
- 3 ☐ スキーやスノーボードなどのスポーツを楽しみたい
- 4 ☐ キャンプなど、アウトドア活動をしたい
- 5 ☐ 自然に触れたい
- 6 ☐ 竹田城跡に行きたい
- 7 ☐ 歴史的な建築物を見たい
- 8 ☐ 歴史的な遺産・遺構を見たい
- 9 ☐ 但馬牛やカニなど名産品を食べたい
- 10 ☐ 農家に宿泊したい
- 11 ☐ その他

【本調査設問】

日本の近畿地方に、「兵庫県」という県があります。兵庫県は本州の中西部に位置しており、京都府や大阪府に隣接しています。その兵庫県の中央部に、「中播磨地区」、「但馬地区」という2つの地区があり、この両地区には、観光地として、以下のような特徴があります。

- 世界遺産に認定されている「姫路城」という城があります。シラサギが羽を広げたような優美な姿から「白鷺城」とも呼ばれています。
- 自然を活かした観光資源(温泉、スキー場、海水浴場、キャンプ場など)も豊富であり、特に城崎温泉などの温泉が有名です。
- 城跡や鉱山跡・工場跡など、歴史的な遺産・遺構も多く存在しています。特に『天空の城』と呼ばれる「竹田城跡」が有名です。
- 但馬牛やカニといった地域の名産品もあります。
- 農家に宿泊し、農業体験や農家の方との交流を楽しめる「農家ステイ」をおこなっている所もあります。

Q10

あなたは、「鉱山・炭鉱跡」や「工場跡」のような、ある時代において、その地域に根付いていた、産業の姿を伝える遺物や遺跡を観光地化したものに興味関心はありますか。また、興味があるとしたら、そのような遺物や遺跡に興味関心を持たれる理由を教えてください。(いくつでも)

- 1 ☐ 歴史的な建物や遺跡を見るのが好きだから
- 2 ☐ 産業自体の歴史を学ぶのが好きだから
- 3 ☐ 工場跡や工業に関連する遺構などを見るのが好きだから
- 4 ☐ 歴史的な建物や遺跡を写真に撮るのが好きだから
- 5 ☐ 工場跡や工業に関連する遺構などを写真に撮るのが好きだから
- 6 ☐ 昔の機械など、メカニックなものを見るのが好きだから
- 7 ☐ 産業を通じた街並みを感じるのが好きだから
- 8 ☐ 廃墟が好きだから
- 9 ☐ その他
- 10 ☐ このようなものに興味関心はあまりない

「日本遺産」とは地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産(Japan Heritage)」として日本政府が認定するものです。

Q11

『日本遺産』という言葉をご存知ですか。
※世界遺産ではありません

- 1 ☐ 知っている
- 2 ☐ 聞いたことはあるが内容は知らない
- 3 ☐ 知らない

「日本遺産」とは地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産(Japan Heritage)」として日本政府が認定するものです。

Q12

『日本遺産』に認定されていることが分かった場合、その地域への興味・関心に変化はありますか。

- 1 ☐ 行ってみたいくなる
- 2 ☐ 調べてみたいくなる
- 3 ☐ 気持ちに変化はない



日本遺産
「播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道」
～資源大國日本の記憶をたどる 73kmの轍～

兵庫県中央部の播但地域には、姫路・飾磨港から生野鉱山へと南北一を直線に貫く道があり、「銀の馬車道」と呼ばれています。さらに生野鉱山から神子畑を通り、明延鉱山、中瀬鉱山へと続く道は「鉱石の道」と呼ばれています。

日本屈指の鉱山群をめざす全長73kmのこの道は、明治時代(1868年～1912年)の面影を残す宿場町を経て鉱山まちへ、さらに歩を進めると各鉱山の静謐とした坑道にたどり着きます。

近代化の始発点にして、この道の終着点となる鉱山群へと向かう道を辿ると、鉱山まちが放つ「いふし銀」の景観と生活の今昔に触れることができ、鉱物資源大國日本の歴史を学ぶことから、2017年4月28日、日本遺産に認定されました。

また、明治時代、この日本遺産「播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道」の構成文化財の1つである生野鉱山の近代化のために、フランスより多くの技師が招かれ、重要な役割を果たしました。

Q13

上記のような歴史や文化財を持つ、「播但貫く 銀の馬車道 鉱石の道」を訪れてみたいと思いますか。

- 1 ☐ 非常にいきたいと思う
- 2 ☐ 行きたいと思う
- 3 ☐ どちらともいえない
- 4 ☐ あまり行きたいと思わない
- 5 ☐ 行きたいと思わない



日本遺産
「播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道」
～資源大國日本の記憶をたどる 73kmの轍～

兵庫県中央部の播但地域には、姫路・飾磨港から生野鉱山へと南北一を直線に貫く道があり、「銀の馬車道」と呼ばれています。さらに生野鉱山から神子畑を通り、明延鉱山、中瀬鉱山へと続く道は「鉱石の道」と呼ばれています。

日本屈指の鉱山群をめざす全長73kmのこの道は、明治時代(1868年～1912年)の面影を残す宿場町を経て鉱山まちへ、さらに歩を進めると各鉱山の静謐とした坑道にたどり着きます。

近代化の始発点にして、この道の終着点となる鉱山群へと向かう道を辿ると、鉱山まちが放つ「いふし銀」の景観と生活の今昔に触れることができ、鉱物資源大國日本の歴史を学ぶことから、2017年4月28日、日本遺産に認定されました。

また、明治時代、この日本遺産「播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道」の構成文化財の1つである生野鉱山の近代化のために、フランスより多くの技師が招かれ、重要な役割を果たしました。

Q14

この日本遺産を訪れてみたいと思った理由をお聞かせください。(いくつでも)

- 1 ☐ 歴史やストーリーに興味がある
- 2 ☐ 珍しさ・個性を感じる
- 3 ☐ 写真映えしそうな風景だと感じる
- 4 ☐ 文化遺産や産業遺産等に興味がある
- 5 ☐ 風情ある道や廃墟、ダム等に興味がある
- 6 ☐ 日本の鉱業や鉱山の歴史に興味がある
- 7 ☐ 地下坑道や「探検」感が良い
- 8 ☐ 古い時代の日本の町並みに興味がある
- 9 ☐ 自国とのつながりがあるから
- 10 ☐ その他

【本調査設問】

日本遺産
「播磨貴く、銀の馬車道 鉱石の道」
～資源大國日本の記憶をたどる 73kmの轍～

兵庫県中央部の播磨地域には、姫路・飾磨港から生野鉱山へと南北一を直線に貫く道があり、「銀の馬車道」と呼ばれています。さらに生野鉱山から神子畑を通り、明延鉱山、中瀬鉱山へと続く道は「鉱石の道」と呼ばれています。

日本屈指の鉱山群をめざす全長73kmのこの道は、明治時代(1868年～1912年)の面影を残す宿場町を経て鉱山まちへ、さらに歩を進めると各鉱山の静謐とした坑道にたどり着きます。近代化の始発点にして、この道の終着点となる鉱山群へと向かう道を辿ると、鉱山まちが放つ「いぶし銀」の景観と生活の今昔に触れることができ、鉱物資源大國日本の歴史を学べることから、2017年4月28日、日本遺産に認定されました。

また、明治時代、この日本遺産「播磨貴く、銀の馬車道 鉱石の道」の構成文化財の1つである生野鉱山の近代化のために、フランスより多くの技師が招かれ、重要な役割を果たしました。

Q15
この日本遺産の構成文化財で、興味が湧くものがあれば、いくつかもお選びください。(いくつでも)



1 生野鉱山 馬車道跡
生野・姫路間39kmを最速で結ぶ日本初の産業専用道路として、明治9年(1876年)に完成。「銀の馬車道」として親しまれている。



2 飾磨津物揚場跡
銀の馬車道の登着点となる貨物港。現在でもレンガ製倉庫や港遺構が残る。



3 馬車道修築碑
明治9年(1876年)に「銀の馬車道」完成を記念して建てられた、道を造る経緯や経過が記された記念碑。



4 辻川町
「銀の馬車道」沿いにある宿場町。かつて馬車道の物資運搬の中継地点であった。



5 三木家住宅
江戸時代中～末期に造られたといわれる、辻川町を治めた大庄屋の屋敷跡。



6 屋形町
江戸時代からの宿場町で、「銀の馬車道」沿いの宿場町としても利用された。



7 栗賀町
「銀の馬車道」の宿場町で、生野の玄関口であった。現在でも、当時の町並みが連続して残されている。



8 竹内家住宅
古くから地域の盟主として旧栗賀村で造り醬油、造り酒屋、お茶問屋を営んでいた竹内家の邸宅跡。



9 生野鉱山関連遺構
平安時代初期(807年ごろ)の開坑と伝えられる、1200年の歴史を持つ鉱山。明治時代(1868年～1912年)に造られた鍛錬工場が今も現役で稼働している。

10 生野鉱山町
探掘関係者が生活した鉱山町。銅などを精錬するときに生じる不要物でできた「カラミ石」を用いた建物群が特徴的。



11 神子畑鉄橋・羽瀬鉄橋
生野と神子畑鉱山を結ぶ鉄橋。神子畑鉄橋は、全鉄製の橋梁としては日本最古。



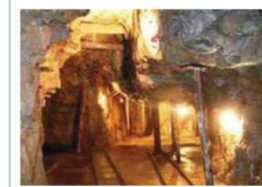
12 神子畑選鉱場跡
明延鉱山の鉱石を選別する施設であった。山の斜面を利用した機械選鉱場は、かつて規模・産出量とともに「東洋一」と謳われた。



13 旧神子畑鉱山事務舎(ムーセ旧宅)
生野鉱山に招かれたフランス人技師の官舎として建てられ、その後神子畑に移築された。現在は鉱山に関する資料などを公開している。



14 明延鉱山 明神電車
明延鉱山と神子畑を結んだ鉱山鉄道。乗車料が1円だったため、「一円電車」の愛称で親しまれた。車内は一部保存されており車内見学が可能。



15 明延鉱山関連遺構・明延鉱山町
銅(すず)・銀・銅を採掘した鉱山。採掘に使用された坑道が多数残っており、坑道の中を探検することができる。



16 中瀬鉱山関連遺構・中瀬鉱山町
西日本最大の金山。現在も鉱山関連の工場が現役で稼働し、鉱山に関わる街並みが残る。

17 特になし

調査設問

【本調査設問】



日本遺産「播但貫く銀の馬車道 鉱石の道」は、姫路市から朝来市・生野鉱山までを貫く「銀の馬車道」と呼ばれる道と、生野銀山から養父市・中瀬鉱山へと続く「鉱石の道」と呼ばれる道の2つからなる、全長73kmの道です。
この道沿いには、鉱山に関わる文化財や、当時の宿場町の面影を残す町並みが数多く残っており、この道をたどると、鉱物資源大日本国の歴史を学ぶことができます。

Q16

もし今後当日本遺産を訪れることになった場合、「播但貫く銀の馬車道 鉱石の道」の全ての道のりを観光したいと思いませんか。
それとも、Q15で挙げた観光地をスポット的に訪れたいと考えますか。
以下より当てはまるものをお選びください。

- 1 ☐ 全ての道のりをたどりたい
- 2 ☐ 一部の道のりをたどりたい
- 3 ☐ 2個以上のスポットを訪れたい(「道のり」は意識せず)
- 4 ☐ 1つのスポットのみを訪れたい
- 5 ☐ 分からない



日本遺産「播但貫く銀の馬車道 鉱石の道」は、姫路市から朝来市・生野鉱山までを貫く「銀の馬車道」と呼ばれる道と、生野銀山から養父市・中瀬鉱山へと続く「鉱石の道」と呼ばれる道の2つからなる、全長73kmの道です。
この道沿いには、鉱山に関わる文化財や、当時の宿場町の面影を残す町並みが数多く残っており、この道をたどると、鉱物資源大日本国の歴史を学ぶことができます。

Q17

この日本遺産の「道」をたどる旅*の場合、どのような旅のスタイルであれば、行きたい気持ちになりますか。以下より当てはまるものを全てお選びください。
各スタイルとも、適切な環境整備・プランが完成していると仮定してお答えください。(いくつでも)
*「全ての道のり」または「一部の道のり」

- 1 ☐ サイクリング
- 2 ☐ ウォーキング・トレッキング
- 3 ☐ ランニング・マラソン
- 4 ☐ バイクツーリング
- 5 ☐ ドライビング
- 6 ☐ バスツアー
- 7 ☐ 鉄道・トロコ
- 8 ☐ 馬車の旅(本物の馬)
- 9 ☐ ゴーカート
- 10 ☐ その他
- 11 ☐ いずれのスタイルでも行きたいと思わない

Q18

この日本遺産のPR法について、どのような情報発信であれば行きたい気持ちになりますか。
以下より当てはまるものを全てお選びください。(いくつでも)
また、そのうち最も当てはまるものを1つお答えください。(ひとつだけ)

	1 あてはまるもの	2 最もあてはまるもの
ここでしか撮れない、フォトジェニックスポット	1 ☐	1 ☐
ここでしか味わえない、ご当地グルメ	2 ☐	2 ☐
見て、触れて、探検もできる、体験型旅行	3 ☐	3 ☐
1200年の歴史を誇る、地下900mの鉱山探訪	4 ☐	4 ☐
文化遺産や産業遺産から学ぶ近代化の歴史	5 ☐	5 ☐
過去に思いを馳せる、遺跡・遺構をめぐる旅	6 ☐	6 ☐
自然に癒され、リフレッシュできる	7 ☐	7 ☐
ここでしか見られない、美しい風景・景観	8 ☐	8 ☐
現地ガイドが案内する、地元密着型の旅	9 ☐	9 ☐
アートスポットで芸術に触れる	10 ☐	10 ☐
子どもと一緒に楽しめる	11 ☐	11 ☐
神秘的、ミステリアスな観光地	12 ☐	12 ☐
ここにしかいない、個性的なご当地キャラクターに出会う	13 ☐	13 ☐
サイクリングやウォーキングで巡る、アウトドア体型の旅	14 ☐	14 ☐
その他	15 ☐	15 ☐
いずれのPRでも行きたいと思わない	16 ☐	16 ☐